

保証書 (持込修理)

本書は、本書記載内容(下記規定)で、無料修理を行うことを、お約束するものです。

保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

| | |
|--|--|
| 品番 ZQ-25 | |
| シリアルNo. | |
| お買い上げ日 | 年 月 日 お買い上げ年月日の記載がない場合、無料修理規定外となります。 |
| 保証期間 | 対象部分 機器本体(消耗部品は除く) お買い上げの日から3年 |
| お名前 | 様 |
| お客様ご住所 | 〒 |
| TEL() | |
| 販売店 | 店名・住所 |
| 上欄に記入または捺印のない場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものを、お貼りください。 | |

無効

<無料修理規定>

1. 本書記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機器本機及び本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の移動、落下等による故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障及び損傷
 - (ニ) 特殊な条件下等、通常以外の使用による故障及び損傷
 - (ホ) 故障の原因が本製品以外にある場合
 - (ヘ) 本書のご提示がない場合
 - (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 - (チ) 本体内蔵のバックアップ電池、microSDカードなどの付属品および消耗品の消耗による交換
5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

故障内容記入欄

| |
|--|
| |
|--|

※ 本書を紛失しないよう大切に保管してください。
※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理については不明の場合は、お買い上げの販売店または、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

ZQ-25

取扱説明書



このたびはユピテル製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本機で使用する専用ビューソフト/専用アプリは付属のmicroSDカード内に収録されていません。お手数ですが、弊社ホームページからダウンロードしてご利用ください。(https://www.yupiteru.co.jp/)

 本機の設定を変更するには、スマートフォンのアプリが必要です。あらかじめお使いのスマートフォンで専用アプリがインストールできるか確認してください。

 安心してお使いいただくために、必ず1～2週間に一度、本機または専用アプリでSDカードのフォーマットを行ってください。(P.12、65)

 事故発生時は記録された録画ファイルが上書きされないように、必ず電源OFFしてからmicroSDカードを抜いて保管してください。

 電源ONの状態ではmicroSDカードの抜き差しを行わないでください。microSDカード破損の原因となります。必ず電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したことを確認し、microSDカードの抜き差しを行ってください。

●重要事項●



必ず1～2週間に一度、本機でSDカードのフォーマットを行ってください。

なぜSDカードのフォーマットが必要なのか…

SDカードはフォーマットせずに使い続けると、記録できない領域(=不良セクタ)が発生します。不良セクタには書き込みができないため、不良セクタが多くなると記録時間が短くなり、「記録できない」、「必要な録画ファイルが上書きされてしまう」といったことが起こる可能性があります。1～2週間に一度SDカードをフォーマット(●P.12、65)することで、正常に動作することができますので必ず行ってください。

確認とご注意

| | |
|----------------|----|
| 安全上のご注意 | 4 |
| 使用上のご注意 | 8 |
| もしも事故が起きたら・・・ | 10 |
| SDカードをフォーマットする | 12 |
| 本体のみで初期化する | 13 |

基礎知識

| | |
|--------------------------------|----|
| 各部の名称と働き | 14 |
| 1. 付属品 | 16 |
| 2. 別売品 | 17 |
| 3. 付属品・別売品の購入について | 17 |
| SDカードの取り外し/装着 | 18 |
| 1. SDカードを本体から取り外す | 18 |
| 2. SDカードを本体へ装着する | 18 |
| 録画について | 19 |
| 1. 常時録画 | 20 |
| 2. イベント記録 (Gセンサー記録とワンタッチ記録) | 20 |
| 3. 上書きモードについて | 21 |
| タイムラプスモードについて | 23 |
| 1. タイムラプスモードを開始する | 23 |
| 2. タイムラプスモードを終了する | 24 |
| メンテナンスについて | 25 |

| | |
|---------|----|
| 初期値について | 26 |
|---------|----|

すぐに使う

| | |
|--|----|
| 本機の取り付け | 27 |
| 1. 本機を取り付ける | 28 |
| 2. 電源を接続する | 30 |
| 別売品の取り付け | 32 |
| 1. 12V/24V対応電源直結コード (OP-E1138)の接続方法 | 32 |
| 2. マルチバッテリー(OP-MB4000)の接続方法 | 32 |
| 3. 電圧監視機能付電源ユニット (OP-VMU01)の接続方法 | 35 |
| 電源ON～OFFまでの手順 | 39 |
| 1. 電源ON(録画を開始する) | 39 |
| 2. SDカードをフォーマットする | 40 |
| 3. ワンタッチ記録をする | 40 |
| 4. 電源OFF(録画を停止する) | 40 |

専用アプリ

| | |
|-------------------|----|
| 専用アプリについて | 43 |
| 1. 専用アプリをインストールする | 43 |
| 2. 無線LAN接続する | 43 |
| 3. ライブ映像画面 | 46 |
| 4. ビデオ表示モード | 47 |
| 5. 画面タッチ操作 | 48 |
| 専用アプリの操作 | 49 |
| 1. 録画操作 | 49 |

●大切なデータはバックアップしましょう。

フォーマットを行うと、「SDカード内にある録画ファイル」は全て削除されます。必要に応じてパソコンやスマートフォンにバックアップをしてからフォーマットすることをお勧めします。(● P.72)

●SDカードは消耗品です。

フォーマットしてもSDカードエラー (● P.74)が頻繁に表示される場合は、SDカードの寿命が考えられますので買換えをお勧めします。

●SDカードの買換えは純正品をお勧めします。

どのSDカードにも本機との相性問題があります。市販品のSDカードでは最悪使用することができない場合があります。純正品でしたらその心配はありませんので安心してご利用いただけます。お使いの機種の品番を確認してからお買い上げの販売店、またはお近くの弊社取扱店にSDカードをご注文ください。

- 2. 音声記録をON/OFFする 50
- 3. カメラリスト画面を表示する 50

再生 52

- 1. アルバム画面を表示する 52
- 2. 再生する 54
- 3. 閲覧先のフォルダを変更する 56

録画ファイルの保存(コピー)/削除... 57

- 1. 録画ファイルを保存(コピー)する 57
- 2. 録画ファイルを削除する 57

カスタマイズして使う

設定画面の表示方法 59

- 1. ドライブレコーダー設定画面を表示する ... 59
- 2. アプリ設定画面を表示する 60

設定画面 62

- 1. ドライブレコーダー設定画面 62
- 2. アプリ設定画面 64

SDカード初期化(フォーマット) ... 65

- 1. SDカードをフォーマットする 65

専用ソフト

専用ビューアソフトで再生する 66

- 1. 専用ビューアソフトをインストールする ... 66
- 2. 専用ビューアソフトを起動する 66
- 3. 録画ファイルを再生する 66
- 4. 専用ビューアソフトを終了する 67

専用ビューアソフト 68

- 1. 専用ビューアソフトの画面について 68
- 2. 表示エリアの操作について 70
- 3. 表示切替について 71

その他

録画ファイルの読み出しについて ... 72

- 1. 専用ビューアソフトを使用せずに録画ファイルを再生する 73

こんなときは 74

動作一覧 76

故障かな?と思ったら 77

仕様 80

microSDカード対応一覧表 82

- 1. 録画時間の目安 82
- 2. イベント記録の最大記録ファイル数 82

索引 83

アフターサービス 87

- 1. お客様ご相談センター 87

保証書 裏表紙

安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

- 危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を次の表示で区分し、説明しています。

- ⚠ **危険**：「死亡または重傷を負う恐れが大きい」内容です。
- ⚠ **警告**：「死亡または重傷を負う恐れがある」内容です。
- ⚠ **注意**：「軽傷を負うことや物的損害が発生する恐れがある」内容です。

絵表示について

- ❗ 必ず実行していただく「強制」内容です。
- 🚫 してはいけない「禁止」内容です。
- ⚠ 気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
- 👉 関連するページを示します。

●安全上お守りいただきたいこと

⚠ 警告

- ❗ **異常・故障・破損時はすぐに使用を中止してください。**

そのまま使用すると、火災や発火、感電の恐れがあります。

＜異常な状態の例＞

- ・ 内部に異物が入った
- ・ 水に浸かった
- ・ 煙が出ている
- ・ 変な臭いがする

すぐに使用を中止し、電源コードを外して、お買い上げの販売店またはお客様ご相談センターにお問い合わせください。

● P.87「アフターサービス」

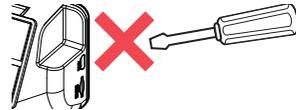
- ❗ **心臓ペースメーカー等の医療機器をご使用のお客様は、医療用機器への影響を医療用電気機器製造業者や担当医師にご確認ください。**

- ❗ **持病をお持ちの方や妊娠の可能性がある、もしくは妊娠されている方は、本機を使用される前に医師にご相談ください。**

- ❗ **本機を長時間使用しない場合、本体から電源コードを外してください。**
車両バッテリーの放電や火災の原因となります。

- 🚫 **サービスマン以外の人は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しないでください。**

感電や故障の原因となります。内部点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。



- 🚫 **本機を次のような場所に保管しないでください。**

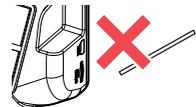
- ・ 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高い所
- ・ 湿気やほこり、油煙の多い所
- ・ ダッシュボードや炎天下で窓を閉め切った自動車内

- 🚫 **本機を火の中、電子レンジ、オーブンや高压容器に入れたり、加熱したりしないでください。**

破裂、発火や火傷の原因となります。

- 🚫 **穴やすき間にピンや針金等の金属を入れないでください。**

感電や故障の原因となります。



⊘ 病院内や航空機内など、使用が禁止されている場所では使用しないでください。

電子機器などが誤作動する恐れがあり、重大な事故の原因となります。

⊘ 本機を可燃性ガスの多い環境では使用しないでください。

爆発や火災の原因となります。

⚠ SDカードおよびその他の付属品は、子供の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んでしまう恐れがあります。

⚠ 注意

⊘ 結露したまま使い続けしないでください。故障や発熱などの原因となります。(気温の低いところから高いところへ移動すると、本機内に結露が生じることがあります。)

⊘ 落としたり、強いショックを与えないでください。

破損、故障の原因となります。

⊘ 各端子に異物が入らないように、取り扱いにご注意ください。

故障の原因となります。

⊘ 濡れた手で操作しないでください。感電の原因となります。



⊘ 本体の近くに磁石などの磁気を帯びた素材を置かないでください。

故障の原因となります。

⚠ 本機は精密機械です。

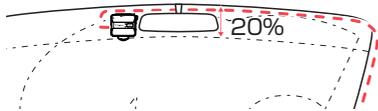
静電気/電気的ノイズ等でデータが消えることがあります。データが消えると作動しません。

● 取り付けについて

⚠ 警告

❗ 取り付けは、フロントガラスの上部20%の範囲内に取り付けてください。

※フロントガラスの下の縁から15cm以内の取り付けが可能になりました。上部に比べ本機が高温になりやすいため、弊社は上部20%への取り付けをお勧めします。



❗ 取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能(ブレーキ、ハンドル等)の妨げにならない場所に取り付けてください。

誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

❗ エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしないでください。

万一のとき動作したエアバッグで本機が飛ばされ、事故やけがの原因となります。また、コード類が妨げとなり、エアバッグが正常に動作しないことがあります。



❗ 一部の運転支援システム装着車の場合、取り付け位置によっては制御に影響を及ぼす恐れがあります。

取り付け前に、車両の取扱説明書をご確認ください。

⚠ 注意

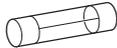
- ❗ 取り付けは確実に行ってください。また定期的に点検を行ってください。本体などの脱着・落下等によるけがや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。
- ❗ 突起部分などにご注意ください。取り付けや取り外しの際、突起部分などでけがをする恐れがあります。

- ❗ 接続部は確実に奥まで差し込んでください。動作しない、火災や感電、故障の原因となります。
- ❗ テレビ/ラジオアンテナ付近に設置しないでください。テレビ/ラジオ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。

●電源コードについて

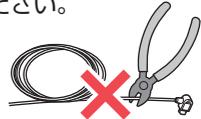
⚠ 警告

- ❗ 電源コードは確実に差し込んでください。接触不良を起こして火災の原因となります。
- ❗ お手入れの際は、電源コードを抜いてください。感電の原因となります。
- ❗ 指定以外のヒューズは使用しないでください。指定以外のヒューズを使用すると異常過熱や発火の原因となります。ヒューズは必ず同一の定格のものと交換してください。



交換ヒューズ2A
(20mm × 5.2mm)

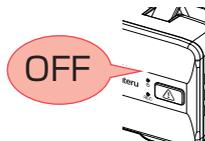
- ❌ 指定された電源電圧車以外では使用しないでください。火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。
- ❌ コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しないでください。故障や感電の原因となります。



●SDカードについて

⚠ 警告

- ⚠ SDカードの出し入れは、本機の電源OFFを確認して行ってください。



- ⚠ SDカードは一方にしか入りません。挿入方向をよくお確かめの上、挿入してください。無理に押し込むと、本機が壊れることがあります。

●本機の操作・運転について

⚠ 警告

- ❗ 走行中は運転者による操作、ランプの注視をしないでください。

このような行為は道路交通法第71条への違反となり処罰の対象となります。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に停車してから操作してください。交通事故やけがの原因となります。

- ❗ ワンタッチ記録をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作してください。

- ❌ 海外ではご使用にならないでください。
本機は日本国内仕様です。

- ❌ 運転者は走行中に操作しないでください。

走行中の操作は前方不注意による事故の原因となります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態で操作してください。

- ❌ 急発進したり急ブレーキをかけないでください。

安全運転上、大変危険です。また本体などの脱落・落下等によるけがや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。

●本機のお手入れについて

⚠ 注意

- ❗ カメラのレンズが汚れている場合は、やわらかい布などに水を含ませて、軽く拭いてください。

乾いた布などで拭くとキズの原因となります。

- ❌ 本機の外装を清掃する場合は水や溶剤は使わずに、乾いた柔らかい布で行ってください。

内部に異物が入った場合は使用を中止し、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

- ❌ ベンジンやシンナー等の揮発性の薬品を使用して拭かないでください。
塗装面を傷めます。



使用上のご注意

- 本機を使用中の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけください。
- 本機を取り付けたことによる、車両や車載品の故障、事故等の付随的損害について、当社は一切その責任を負いません。

- ・ 自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造等によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 説明書に記載の使用方法およびその他の遵守すべき事項が守られないことで生じた損害に関し、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 本機の仕様および外観、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、改良のため予告なしに変更する場合があります。
- ・ 本製品の取り付けによる車両の変色・変形(跡が残る)に関し、当社では補償いたしかねます。

録画についての注意

- ・ 本機は連続で映像を記録しますが、すべての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- ・ 本機は事故の証拠として、効力を保証するものではありません。
- ・ 本機の故障や本機使用によって生じた損害、および記録された映像やデータの消失、損傷、破損による損害については、当社は一切その責任を負いません。
- ・ 本機で録画した映像は、使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますが、当社は一切責任を負いません。
- ・ 本機の動作を確かめるための急ブレーキなど、危険な運転は絶対におやめください。
- ・ LED式信号機は点滅して撮影される場合や色の識別ができない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。それにより発生した損害については当社は一切責任を負いません。
- ・ 映像を正常に録画するため、カメラのレンズや車両のフロントガラスは常に清潔にしてください。
- ・ 録画条件により、録画のコマ数が変わる場合があります。
- ・ 運転者は走行中に電源ランプ等を注視したり、操作しないでください。ワンタッチ記録(手動録画)するとき、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作を行ってください。
- ・ 事故発生時は、録画ファイルが書ききれないように必ずSDカードを保管してください。
- ・ 本機は精密な電子部品で構成されており、下記のようなお取り扱いをすると、データが破損する恐れがあります。
 - ※ 本体に静電気や電気ノイズが加わった場合。
 - ※ 水に濡らしたり、強い衝撃を与えた場合。
 - ※ 長期間使用しなかった場合。
 - ※ パソコンでの操作時に誤った取り扱いを行った場合。

撮影された映像について

- ・ 本機は広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみや、影が生じることがあります。これは、広角レンズの特性であり、異常ではありません。

SDカードに関する注意

- ・ 純正品以外のSDカードを使用した場合、正常に録画できないことがあります。付属品または別売品のSDカードを使用することをお勧めします。
- ・ SDカードリーダーライターは、使用のSDカード容量に応じたものを使用してください。容量に対応していないSDカードリーダーライターを使用すると、データの破損等により、読み込みや書き込みが、できなくなる可能性があります。
- ・ SDカードの取り出しは、必ず電源が切れている状態で行ってください。本機の動作中にSDカードの取り出しや挿入を行うと、SDカードの破損やデータの消失など、誤動作を起こす場合があります。
- ・ SDカードはデータの書き込みと消去を繰り返すことで断片化が発生します。安定してご使用いただくため、1～2週間に一度、フォーマットを行うことをお勧めします。
- ・ SDカードは消耗品ですので、定期的に新品への交換をお勧めします。長期間ご使用になると、不良セクタの多発などにより正常に記録できなくなる場合やSDカードエラーになり使用できない場合があります。
- ・ SDカードの消耗に起因する故障または損傷については、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 重要な記録データは、パソコンへ保存やDVDなど別媒体での保管をお勧めします。
- ・ SDカードは必ず本機または専用アプリでフォーマットしてから使用してください。
- ・ 本機をご使用中にデータが消失した場合でも、データ等の保証について、当社は一切その責任を負いません。

電源直結コードに関する注意

- ・ 電源直結コードは、必ず付属品をご使用ください。
- ・ 電源直結コードのヒューズが切れた場合は、市販品の新しいヒューズ(2A)と交換してください。また、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、すぐに使用を中止して、お買い上げの販売店、またはお客様ご相談センターに修理をご依頼ください。
- ・ ヒューズ交換の際は、部品の紛失に注意してください。

■ 取り付けに関する注意

- ・本機は取扱説明書に従って正しく取り付けてください。誤った取り付けは、道路運送車両法違反となるばかりか、交通事故やけがの原因となります。
- ・本機の近くにGPS機能を持つ製品やVICS受信機を設置しないでください。誤動作を起こす可能性があります。
- ・本機の周囲に他の物を配置しないでください。映像に映り込む可能性があります。
- ・テレビアンテナの近くで使用すると、テレビ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。
- ・ラジオアンテナ付近にリアカメラケーブルの配線を行うとラジオの受信感度が下がる場合があります。
- ・本書に記載のある付属品や別売品以外は使用しないでください。それ以外を使用した場合の動作に関しては保証いたしかねます。

■ 保証に関する注意

- ・本製品にはお買い上げから3年間の保証がついています。(ただし、電源コード、microSDカードならびに、消耗品は保証の対象となりません。)

■ GPS測位に関する注意

- ・本機を初めてご使用になる場合は、GPS測位が完了するまで20分以上時間がかかる場合があります。
- ・電波の透過率が低いガラス(金属コーティングの断熱ガラスなど)やフロントガラスをメタリックフィルム等で着色している場合、GPSを測位できない場合があります。
- ・走行速度や進行角度、距離などの表示は、GPSの電波のみで計測しています。測位状況によって、実際とは異なる場合があります。

■ 真夏などの炎天下での注意

- ・サンシェード等の日除けを使用する際は、本機をフロントガラスとサンシェード等の間に挟み込まないでください。熱がこもりやすくなるため、本機の故障につながる可能性があります。

■ 他社製品との組み合わせに関する注意

- ・他社製品との組み合わせについては、動作検証等を行っておりませんのでその動作については保障することができません。あらかじめご了承ください。

■ 電波法に関する注意

- ・本体の技術基準適合証明ラベルをはがさないでください。はがして使用すると、電波法により罰せられることがあります。
- ・海外では使用しないでください。
- ・分解したり改造したりすることは、電波法で禁止されています。改造して使用した場合は、電波法により罰せられることがあります。

■ ドライブレコーダー搭載ステッカーに関する注意

- ・ステッカーを貼り付ける場所を決め、貼り付け面の汚れや、油分、ワックスをあらかじめ取り除いてください。凸凹面、ザラザラ面には接着できない場合があります。
- ・接着後、定着に約1日かかりますのでその間、洗車などは控えてください。
- ・保安基準上、フロントガラスおよび運転席、助手席のサイドガラスやレンズ類等には絶対に貼り付けられないでください。
- ・ステッカー素材は、屋外での使用を想定した素材を使用しておりますが、使用時間や条件により退色やヒビ割れ等の劣化が生じる場合があります。また、飛び石、風圧、事故やその他の不可抗力ではがれる場合もあります。
- ・再塗装や塗装面の傷んでいる場所に貼ると、ステッカーを剥がす際に、塗装がはがれたり、傷める場合があります。
- ・長期間の使用や貼り付け面の材質により、ステッカー貼り付け面は退色具合の異なりで跡が残る場合があります。

■ 電波干渉について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線設備として技術基準適合を受けています(受けた部品を使用しています)。したがって本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。海外で使用するると各国の電波法に抵触する可能性があります。本機の使用周波数帯(2.4GHz)では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)、および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、およびアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

- ・本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- ・万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用を中止してください。
- ・その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局、あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた時は、お客様ご相談センターへお問い合わせください。(☎ P.87)

2.4 DS/OF 4

- ・この表示は2.4GHz帯を使用している製品であることを意味します。

- 2.4 : 2.4GHz帯を使用する無線機器です。
- DS/OF : 変調方式がDS-SS、OFDMであることを示します。
- 4 : 電波干渉距離は40mです。
- ■ ■ : 全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能です。

もしも事故が起きたら・・・

事故発生時は記録された録画ファイルが上書きされないように、必ずSDカードを取り外して安全な場所に保管してください。

※事故発生時の参考資料として使用することができます。事故の証拠として、効力を保証するものではありません。

※LED式信号機は点滅して撮影される場合や色の識別ができない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。それにより発生した損害については当社は一切責任を負いません。

SDカードの保管

保管場所について…

SDカードは精密な電子部品で構成されており下図のような場所でお取り扱い、保管をすると、録画ファイルが破損する恐れがあります。



〈静電気・ノイズ〉



〈水・湿気〉



〈衝撃・曲げ・折り〉



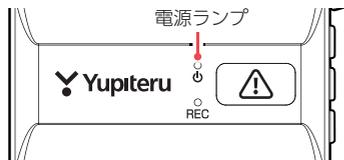
〈腐食性ガス〉

■ 付属品の電源直結コード接続時

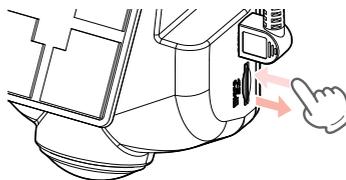
付属の電源直結コードを接続した状態で事故が起きた場合のSDカード保管方法。

1

車両のエンジンをOFFする



電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したことを確認してください。



※SDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。

※取り出す際に手から落とさないように注意してください。SDカードは小さいため、車内で落とすとシートとの隙間などに入り込む可能性があります。

2

SDカードを押し込み、少し飛び出してから引き抜く

3

SDカードを保管する

■ 別売品のマルチバッテリーまたは電圧監視機能付 電源ユニット接続時

別売品のマルチバッテリーや電圧監視機能付 電源ユニットを接続した状態で走行時または駐車時に事故が起きた場合のSDカード保管方法。

走行時に事故が起きた場合

駐車時に事故が起きた場合

1 車両のエンジンをOFFする

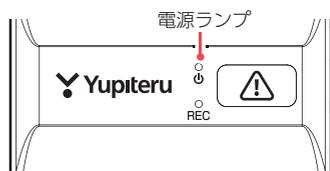
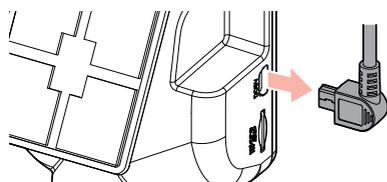


駐車記録を行います。

※別売品の設定によっては電源OFFします。

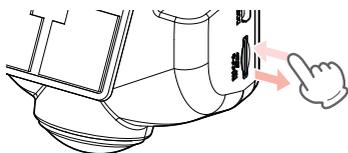
「2.本体のDCジャックから電源コードを取り外す」へお進みください。

2 本体のDCジャックから電源コードを取り外す



電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したことを確認してください。

3 SDカードを押し込み、少し飛び出してから引き抜く



※SDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。

※取り出す際に手から落とさないように注意してください。SDカードは小さいため、車内で落とすとシートとの隙間などに入り込む可能性があります。

4 SDカードを保管する

バックアップ機能について

重大事故などで急に電源が断たれた場合、バックアップ機能により、現在記録中の映像の破損を防いで保存します。

SDカードをフォーマットする

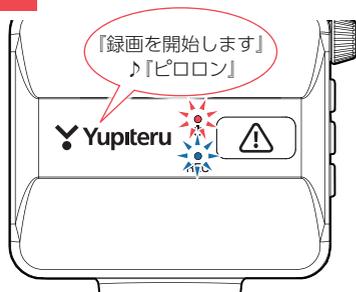
必ず1~2週間に一度、本機または専用アプリでSDカードをフォーマット(初期化)してください。定期的にフォーマットをしないと、エラーの原因になります。

下記の操作は「 ボタン」を使うフォーマット方法です。 ボタンを3秒以上長押しすると、すぐにフォーマットを開始します。

※タイムラプスモード中は、フォーマットを行うことはできません。タイムラプスモードを終了してから行ってください。( P.24)

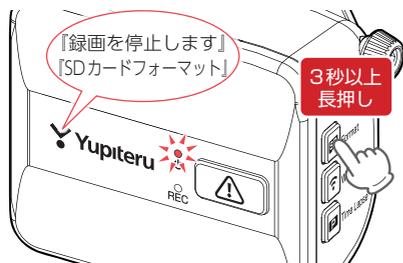
SDカードフォーマットの手順

1 車両のエンジンをONする



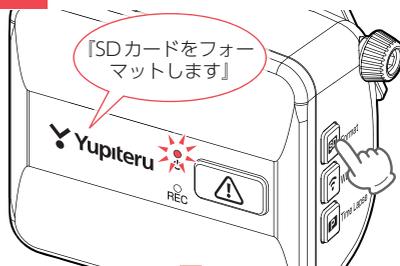
電源ランプ(赤)、録画ランプ(青)が点灯して録画を開始します。

2 ボタンを3秒以上長押しする



録画を停止します。
録画ランプ(青)が消灯します。

3 ボタンを押す



「SDカードのフォーマットが完了しました」とお知らせし、フォーマットは完了します。

完了後は自動で録画を再開します。

専用アプリからフォーマットする場合は、  P.65を参照ください。

本体のみで初期化する

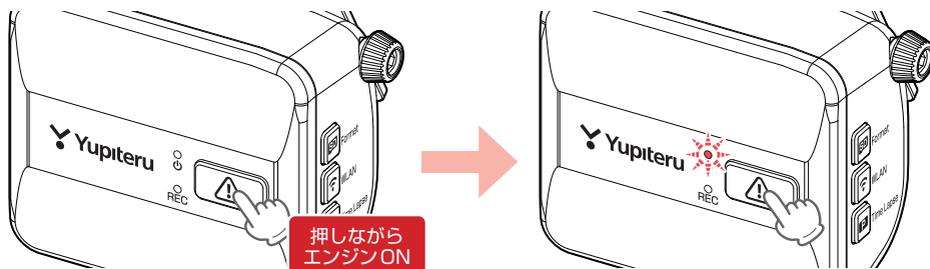
専用アプリで無線LAN名称 (SSID) や無線LANパスワードを変更してSSID、パスワードがわからなくなった場合に本体のみで初期化を行うことができます。

※専用アプリでも初期化を行うことができます。(▶ P.62)

初期化の手順

1

⚠ ボタンを押しながら車両のエンジンをONする



※約2秒間、電源ランプ(赤)が早点滅します。



設定を初期化します。

初期化完了後は自動で録画を開始します。

※設定を変更する場合は、▶ P.59を参照ください。

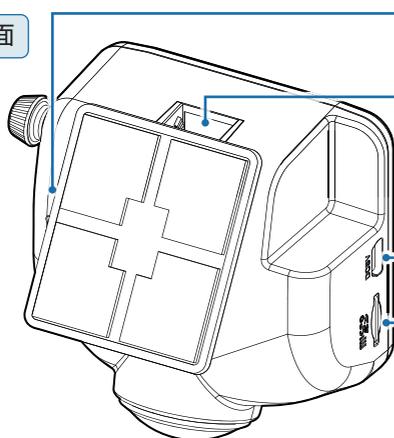
カメラの無線LAN設定の初期値について

無線LAN名称 (SSID) : 「YP-」から始まる英数字、無線LANパスワード : 1234567890

各部の名称と働き

■ 本体

正面



スピーカー

音声によるお知らせなどが出ます。

技術基準適合証明ラベル

/シリアルナンバー

技術基準適合証明ラベルと製造番号が印刷されています。

※ 技術基準適合証明ラベルをはがさないでください。はがして使用すると、電波法により罰せられることがあります。



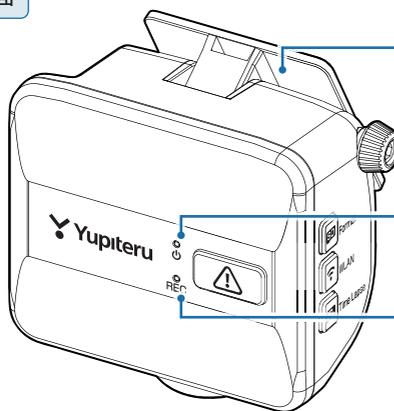
DCジャック (DC5V)

付属の電源直結コードなどを接続します。
(● P.30)

SDカード挿入口

※ microSD カードがあらかじめ挿入されています。

背面



ブラケット

ブラケット固定用ボルト

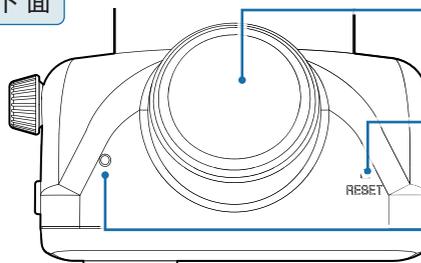
電源ランプ (赤)

本体の動作状態をランプでお知らせします。
(● P.39)

録画ランプ (青)

録画状態をランプでお知らせします。
(● P.39)

下面



レンズ

※ ご購入時は保護フィルムが貼ってあります。ご使用時にははがしてください。

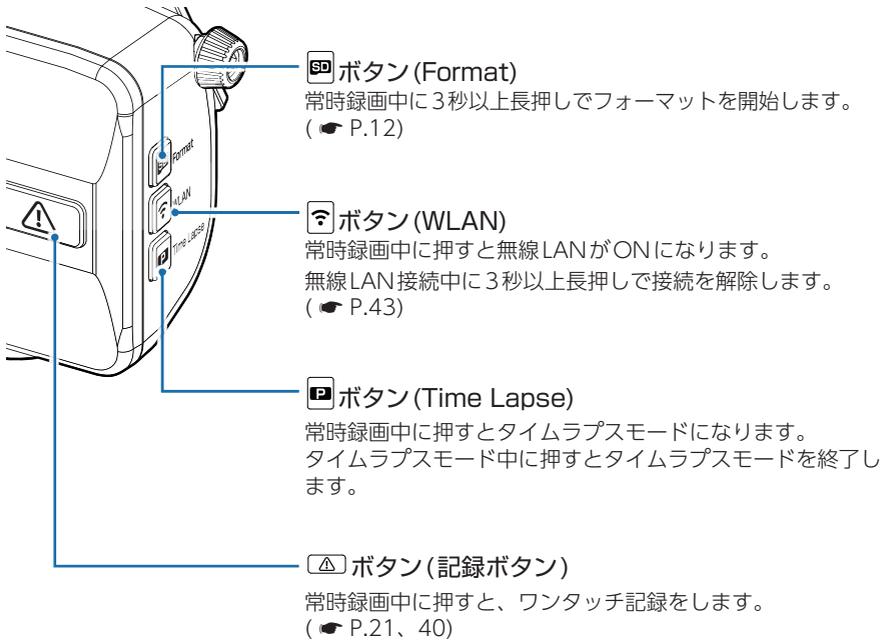
リセットボタン

本体をリセットし、システムを再起動します。(● P.15)

マイク (本体内蔵)

周囲の音を収集します。

操作ボタン



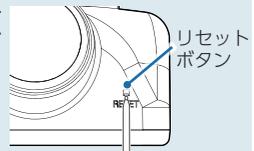
■ リセットボタンについて

ボタンを押しても
反応しない

こんなときは



リセットボタンを
押して再起動して
ください。



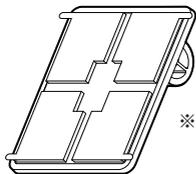
動作しなくなったり、誤作動を起こしたときは、本体下部のリセットボタンを押して、システムを再起動させてください。

※ リセットボタンを押してもSDカードに記録したデータは消えません。また、設定が初期化することはありません。

1. 付属品

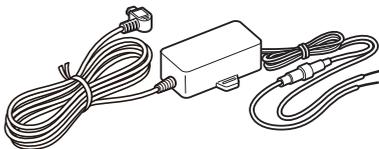
ご使用前に付属品をお確かめください。

■ ブラケット(☛ P.28) …………… 1

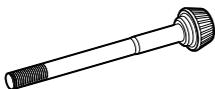


※ 両面テープが
貼り付けてあ
ります。

■ 5V コンバーター付電源直結コード
(約4m)(12V車専用)
(☛ P.30) …………… 1



■ ブラケット固定用ボルト
(☛ P.28) …………… 1



■ microSDカード(16GB) ……… 1
(本体にあらかじめ装着されています。)

■ 取扱説明書・保証書(本書) …… 1

■ ドライブレコーダー搭載
ステッカー …………… 1

※ 保安基準上、フロントガラスおよび運転席、
助手席のサイドガラスやレンズ類等には絶対
に貼り付けしないでください。

- ・本機には、お買い上げの日から3年間の製品保証がついています。
ただし、SDカード、両面テープなどの消耗品は保証の対象となりません。
- ・本機の故障による代替品の貸出は当社では一切行っておりません。
- ・SDカードは消耗品であり、定期的に新品に交換することをお勧めします。
SDカードの性質上、書き込み可能回数など製品寿命があります。

2. 別売品

■ 電圧監視機能付 電源ユニット※1※2

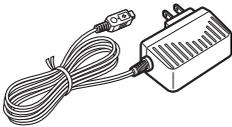
OP-VMU01 (12V/24V車対応)

車両バッテリーに繋げて駐車記録を行う、オフタイマー設定・車両バッテリー電圧監視機能付きの電源ユニットです。(最大約12時間の駐車に対応) (● P.35)

| | |
|-------|---|
| 本体 | 1 |
| 入力コード | 1 |
| 両面テープ | 1 |

■ ACアダプター OP-E368

ご家庭で使用することができます。



■ 専用 microSD カード

OP-SD32M (32GB)

OP-SD64M (64GB)

■ マルチバッテリー

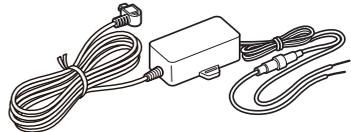
OP-MB4000 (12V車専用)

エンジンをOFFにすると、走行中に充電されたマルチバッテリーからの電源供給により、駐車記録を行います。車両バッテリーからの電源供給と違い、バッテリー上がりの心配がありません。約3時間の走行で満充電になります。(最大約12時間の駐車に対応) (● P.32)

| | |
|--------|---|
| 本体 | 1 |
| 入力コード | 1 |
| 出力コード | 1 |
| 面ファスナー | 1 |

■ 12V/24V対応電源直結コード※1 (約4m) OP-E1138

車内アクセサリ端子から直接電源をとることができます。12-24V電源の車両に対応しています。(● P.32)



※1：24V車に接続する場合、別売品の12V/24V対応電源直結コード(OP-E1138)が必要になります。

※2：電圧監視機能付ですが、車両バッテリーの状態などの起因により、バッテリー上がりを起こす可能性があります。バッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負いません。

3. 付属品・別売品の購入について

- ・付属品や別売品などを追加購入される際は、機種名とともに「XX(機種名)用〇〇(必要な部品)」で、製品購入店やお近くの弊社取扱店にご注文ください。
- ・弊社ホームページでご購入頂けるものもございます。詳しくは、下記ホームページをご確認ください。

Yupiter スペアパーツ ダイレクト
<https://spareparts.yupiter.co.jp/>

SDカードの取り外し/装着

本書では、特にことわりのない場合、「microSDカード」を「SDカード」と表記しています。

※本機と市販品のmicroSDカードとの相性による動作の不具合については保証いたしかねます。

※本機は、8GB以上、128GB以下のmicroSDHC/microSDXCカードに対応しています。
(SDスピードクラス「Class 10」以上)

⚠ 注意

- ・SDカードは一方方向にしか入りません。SDカードを下図のように挿入してください。
- ・無理に押し込むと、本体が壊れることがあります。
- ・付属品以外のSDカードは、必ず本機でフォーマットしてから使用してください。

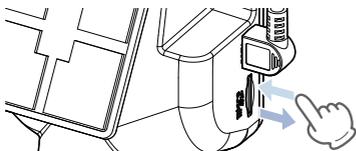
1. SDカードを本体から取り外す

別売品のマルチバッテリーや電圧監視機能付 電源ユニットを接続している場合は、初めに本体から電源コードを取り外してください。詳しくは、👉 P.11を参照ください。

1-1 車両のエンジンをOFFする

電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したのを確認してください。

1-2 SDカードを押し込み、少し飛び出してから引き抜く



※SDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。

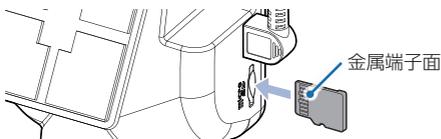
※取り出す際に手から落とさないように注意してください。SDカードは小さいため、車内で落とすとシートとの隙間などに入り込む可能性があります。

2. SDカードを本体へ装着する

2-1 車両のエンジンをOFFする

電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したのを確認してください。

2-2 SDカードを挿入する

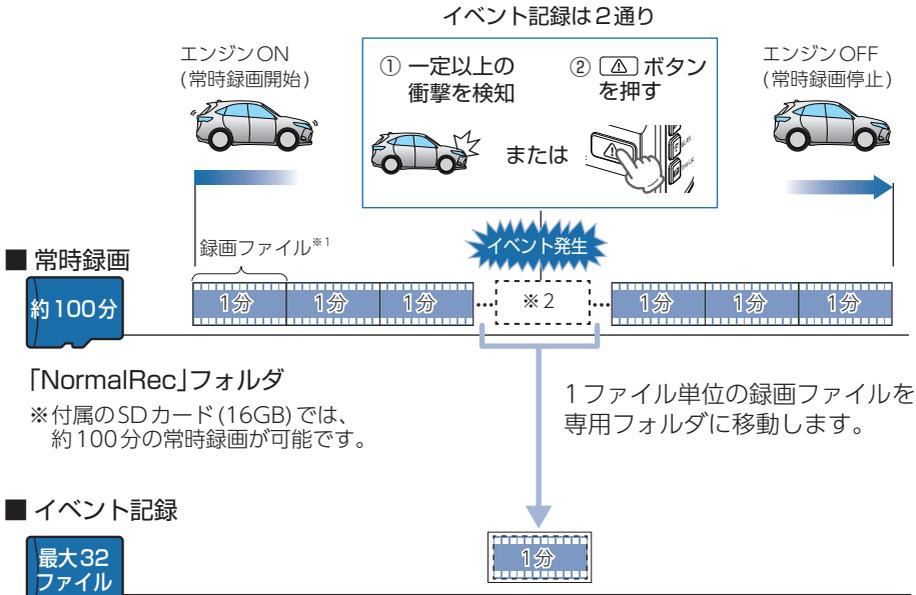


SDカード挿入口に『カチッ』と音がするまで押し込んでください。

※SDカードの向きに注意して挿入してください。

録画について

記録方法は、常時録画とイベント記録があります。



「NormalRec」フォルダ

※付属のSDカード(16GB)では、約100分の常時録画が可能です。

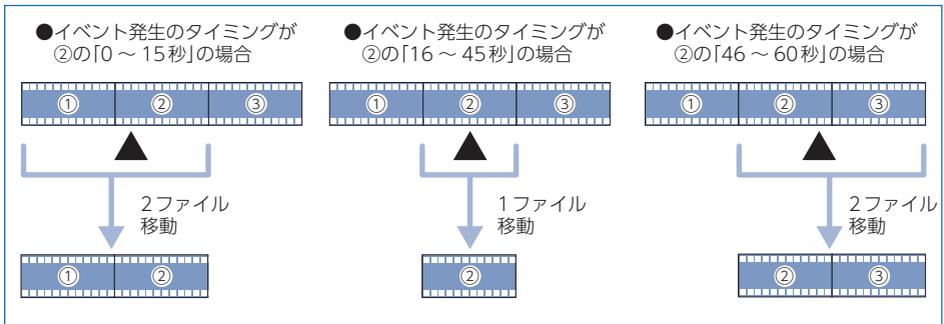
「GsensorRec」フォルダ …… Gセンサー記録

「EVSW」フォルダ …… ワンタッチ記録

※付属のSDカード(16GB)では、Gセンサー記録とワンタッチ記録を合わせて32ファイルのイベント記録が可能です。

※1：タイムラプスモード中は28分または14分の映像が1ファイルになります。(P.23)

※2：イベント発生時のタイミングによって移動するファイル数は異なります。



- ・お買い上げ時の設定では、SDカード容量がいっぱいになると、常時録画、イベント記録それぞれ古い録画ファイルから上書きして録画を続けます。設定により上書き時の動作を変更することができます。(☛ P.21「上書きモードについて」)
- ・本機に異常などがあった場合は、映像を記録することはできません。(☛ P.74「こんなときは」)

1. 常時録画

エンジン始動 (ACC ON) からエンジン停止 (ACC OFF) までの映像をSDカードに常時録画します。録画開始時に『録画を開始します』の音声と『ピッ』と音が鳴り、常時録画中は録画ランプ(青)が点灯します。

※スピーカー音量[オフ]では、音声や音は鳴りません。(☛ P.62)

・録画ファイル構成

1ファイルあたり約1分で生成します。

・録画可能時間

初期値(☛ P.26)で、付属のSDカード(16GB)に約100分の常時録画が可能です。SDカードの容量によって録画可能時間は異なります。(☛ P.82)

・上書きモード

初期値では上書きモードが[すべて上書き]のため、100分以降も上書きして録画します。上書き動作は設定によって異なります。(☛ P.21)

2. イベント記録(Gセンサー記録とワンタッチ記録)

イベント記録にはGセンサー記録とワンタッチ記録があります。イベント記録開始時に『ピッ』と音が鳴り、録画ランプ(青)が早点減します。

※スピーカー音量[オフ]では、音声や音は鳴りません。(☛ P.62)

⚠ 注意

常時録画が停止(上書きモードが[上書き禁止]で常時録画のSDカード容量が上限に達した場合)した場合、イベント記録は移動する録画ファイルがないため、記録ファイル数にかかわらず行うことはできません。(☛ P.21「上書きモードについて」)

・録画ファイル構成

常時録画の録画ファイル構成と同様になります。

※ イベント発生のタイミングによって移動するファイル数は異なります。(☛ P.19)

・最大記録ファイル数

付属のSDカード(16GB)に、Gセンサー記録とワンタッチ記録を合わせて最大32ファイルのイベント記録が可能です。SDカードの容量によって最大記録ファイル数は異なります。(☛ P.82)

・上書きモード

初期値では上書きモードが[すべて上書き]のため、記録ファイル数が32ファイルを超えると、古いイベント記録を上書きします。上書き動作は設定によって異なります。(☛ P.21)

■ Gセンサー記録

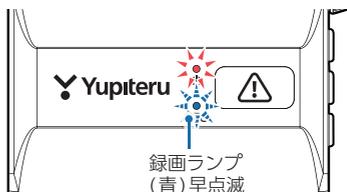
Gセンサーが一定以上の衝撃を検知すると、録画ファイルをSDカードの「Gsensor Rec」フォルダに移動します。

※初期値では「Gセンサー記録：ON」となります。設定で「OFF」にすることもできます。
 (☛ P.62「設定画面」)

・Gセンサー感度

Gセンサーの感度を設定することができます。初期値では、X(前後方向)、Y(左右方向)、Z(上下方向)の数値は全て「1.0G」となります。(☛ P.62「設定画面」)

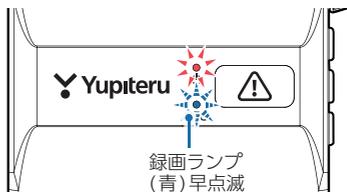
一定以上の衝撃を検知



■ ワンタッチ記録(手動録画)

常時録画中に \triangle ボタンを押すと、録画ファイルをSDカードの「EVSW」フォルダに移動します。

\triangle ボタンを押す



⚠ 注意

ワンタッチ記録をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作を行ってください。

3. 上書きモードについて

上限に達した場合の動作を下記から選択できます。(☛ P.62「設定画面」)

| 上書きモード | | 上限に達した場合の動作 | |
|-----------------|---------------------|-------------|------------|
| | | 常時録画 | イベント記録 |
| 上書き禁止 | 全ての録画ファイルは上書きされません。 | 録画の停止 | 録画の停止 |
| 常時録画上書き | 常時録画ファイルのみ上書きします。 | 上書きして録画を継続 | 録画の停止 |
| すべて上書き (初期値) | 全ての録画ファイルを上書きします。 | 上書きして録画を継続 | 上書きして録画を継続 |

※上書きはそれぞれの記録方法の古い録画ファイルから自動削除して上書きされます。

■ 上書き禁止

常時録画とイベント記録がそれぞれ上限に達すると、その記録方法での録画を停止します。

例①：イベント記録が最大記録ファイル数に達すると、イベント記録は停止しますが、常時録画が上限に達していなければ、常時録画を続けます。

例②：常時録画がSDカード容量の上限に達すると、常時録画が停止します。さらに、イベント記録は移動する録画ファイルがないため、記録ファイル数にかかわらず記録を行うことはできません。

常時録画



*時間はSDカードの容量により異なります。

イベント記録(回数)



*回数(ファイル数)はSDカードの容量により異なります。

■ 常時録画上書き

常時録画はSDカード容量の上限に達すると、古い常時録画ファイルを上書きし録画を続けます。

イベント記録は、最大記録ファイル数に達した時点で、記録を停止します。

イベント記録(回数)



*回数(ファイル数)はSDカードの容量により異なります。

■ すべて上書き(初期値)^{*1}

常時録画とイベント記録がそれぞれ上限に達した場合、各記録方法の古い録画ファイルを上書きし、録画を続けます。

*1：スピーカー音量[オフ]では、音声によるお知らせをしません。あらかじめご了承ください。

タイムラプスモードについて

駐車中の長時間録画に対応するため、フレームレートを「1コマ/秒」に変更し記録を行うタイムラプスモード（駐車監視）があります。別売品のマルチバッテリー（OP-MB4000）または、電圧監視機能付電源ユニット（OP-VMU01）を接続して駐車記録を行う場合にご使用ください。

- ※タイムラプスモード中は、「ワンタッチ記録」を行うことはできません。あらかじめご了承ください。
- ※タイムラプスモード中は、「.nmeaファイル」が作成されないため、再生時に地図などは表示されません。
- ※上書きモードを「上書き禁止」にした場合、タイムラプスモード（駐車監視）中に録画ファイルがSDカード容量の上限に達すると「SDカードがいっぱいです」と表示し、電源OFFします。タイムラプスモードを使用する場合は、上書きモードを「上書き禁止」以外に設定することをお勧めします。（P.21）
- ※タイムラプスモード中は、フレームレートが「1コマ/秒（1FPS）」に固定されます。そのため28分または14分の映像が1ファイルになり、再生すると早送りの映像になります。1ファイルの記録時間はフレームレートで設定したフレームレートが反映されます。（28FPS:28分、14FPS:14分）
- ※別売品のマルチバッテリー（OP-MB4000）または、電圧監視機能付電源ユニット（OP-VMU01）を接続して駐車記録を行う場合、最大継続時間は約12時間です。
- ※タイムラプスモード中に無線LAN接続した場合（P.43）、タイムラプスモードを終了します。

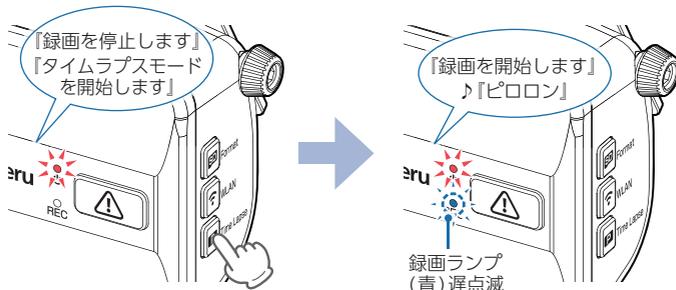
1. タイムラプスモードを開始する

1-1 車両のエンジンをONする



電源ランプ（赤）、録画ランプ（青）が点灯して録画を開始します。

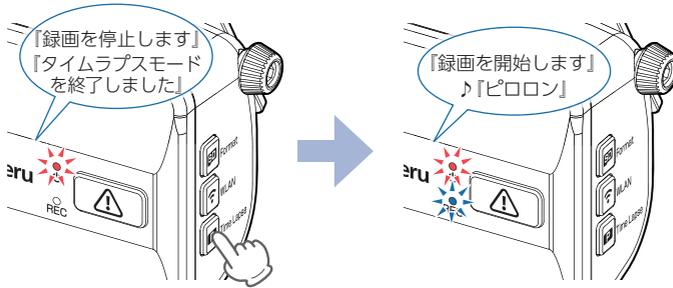
1-2 ボタンを押す



タイムラプスモードで録画を開始します。
タイムラプスモード中は録画ランプ（青）が遅点滅になります。

2. タイムラプスモードを終了する

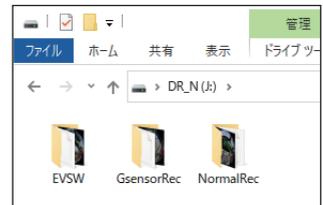
2-1 タイムラプスモード中に、 ボタンを押す



タイムラプスモードを終了し、自動で通常の録画を開始します。

タイムラプスモード中の映像について…

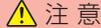
タイムラプスモード中の映像は、通常の録画ファイルと同様に常時録画は「NormalRec」フォルダ、Gセンサー記録は「GsensorRec」フォルダに記録されます。



メンテナンスについて

本機は、定期的にメンテナンスを行っていただくことをお勧めします。

■ 1～2週間に一度のメンテナンス



注意

必ず1～2週間に一度、SDカードのフォーマットを行ってください。(P.12、65)

■ 必要に応じてのメンテナンス

・付属の電源直結コードのヒューズ交換

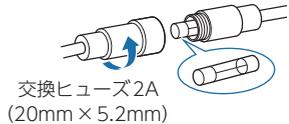
※交換用ヒューズ2A(20mm×5.2mm)

接続状態でエンジンをかけても電源ONにならない場合は、電源直結コードのヒューズ(2A)が切れている可能性があります。

- ① 接続コード類が外れていないかを確認してください。
- ② 下記の手順でヒューズを取り出し、電源直結コードのヒューズホルダー内のヒューズが切れていないかを確認してください。
- ③ ヒューズが切れている場合は、市販品のヒューズと交換してください。

ヒューズホルダーを、図の矢印の方向に回し、ヒューズを取り出す。

ヒューズを交換したあとは、ヒューズホルダーを図の矢印と逆方向に回し、しっかりと締める。



・別売品のヒューズ交換

※マルチバッテリー(OP-MB4000)：交換用ヒューズ6A(30mm×6.0mm)

※電圧監視機能付電源ユニット(OP-VMU01)：交換用ヒューズ3A(30mm×6.4mm)

※12V/24V対応電源直結コード(OP-E1138)：交換用ヒューズ2A(20mm×5.2mm)

接続状態でエンジンをかけても電源ONにならない場合は、ヒューズが切れている可能性があります。

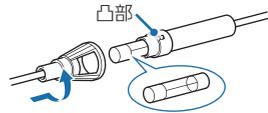
- ① 接続コード類が外れていないか確認してください。
- ② 下記の手順でヒューズを取り出し、ヒューズホルダー内のヒューズが切れていないかを確認してください。
- ③ ヒューズが切れている場合は、市販品のヒューズと交換してください。

< OP-MB4000、OP-VMU01 >

ヒューズホルダー先端を、押しながら図の矢印の方向に回し、ヒューズを取り出す。

ヒューズを交換したあとは、ヒューズホルダー先端の溝と本体凸部を合わせて押しながら図の矢印と逆方向に回す。

OP-MB4000：交換ヒューズ6A(30mm×6.0mm)
OP-VMU01：交換ヒューズ3A(30mm×6.4mm)



< OP-E1138 >

ヒューズホルダーを、図の矢印の方向に回し、ヒューズを取り出す。

ヒューズを交換したあとは、ヒューズホルダーを図の矢印と逆方向に回し、しっかりと締める。



初期値について

本機の初期値は、下記の表のとおりです。

| 設定項目 | 初期値 | 説明 |
|------------|--------|--|
| 映像記録方式 | 魚眼 | 録画した映像そのままに記録します。 |
| フレームレート | 28 fps | 28コマ/秒で録画します。 |
| Gセンサー | ON | 一定以上の衝撃を検知すると、Gセンサー記録を行います。(● P.21) |
| Gセンサー感度(X) | 1.0G | X(前後方向)の衝撃感度を1.0Gに設定しています。 |
| Gセンサー感度(Y) | 1.0G | Y(左右方向)の衝撃感度を1.0Gに設定しています。 |
| Gセンサー感度(Z) | 1.0G | Z(上下方向)の衝撃感度を1.0Gに設定しています。 |
| 音声録音 | ON | 動画と同時に音声も録音します。 |
| スピーカー音量 | 100% | 本機の音量を100%に設定しています。 ※ 音量は、音声によるお知らせ、常時録画/イベント記録開始時の音に反映されます。 ※ 音量を個別に設定することはできません。 |
| 上書きモード | すべて上書き | SDカードの上限に達すると、全ての録画ファイルを上書きします。 (● P.21[上書きモードについて]) |

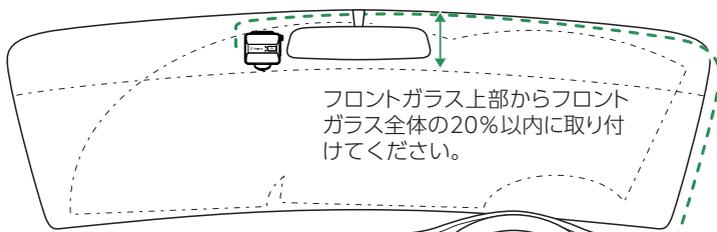
※初期値を変更する場合は、● P.59～65を参照ください。

本機の取り付け

取り付けの注意をご確認いただき、本機を車両に取り付けてください。

取り付けの注意

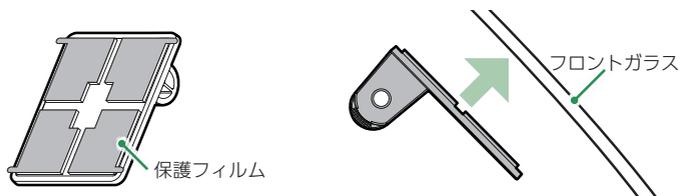
- ・フロントガラスの上部20%の範囲内に取り付けてください。
- ・両面テープは所定の位置に、しっかり取り付けてください。
- ・視界の妨げにならないように取り付けてください。
- ・ワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。ワイパーの拭き取り範囲外に取り付けると、降雨時等に、鮮明に記録できない可能性があります。
- ・ルームミラーの操作に干渉しない場所へ取り付けてください。
- ・車検証ステッカー等に重ならないように取り付けてください。
- ・フロントガラス縁の着色部や視界の妨げとなる場所を避けて取り付けてください。
- ・エアバッグの動作や運転の妨げにならないように取り付けてください。
- ・本機の周囲に物を配置しないでください。映像に映り込む可能性があります。
- ・衝突被害軽減ブレーキシステムのカメラや防眩ミラーのセンサー等がルームミラー裏側にある場合、車両取扱説明書に記載の禁止エリアを避けて取り付けてください。
- ・テレビ/ラジオアンテナ付近に設置しないでください。テレビ/ラジオ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。
- ・取り付け前に、取り付け位置で電源コードなどが接続でき、ボタン操作がしやすい位置か確認してから行ってください。



1. 本機を取り付ける

あらかじめ、フロントガラスの汚れ・脂分をよく落とし、慎重に取り付けてください。
※ご購入時は保護フィルムが貼ってあります。ご使用時にはがしてください。

1-1 ブラケットの両面テープから保護フィルムをはがし、フロントガラスに取り付ける

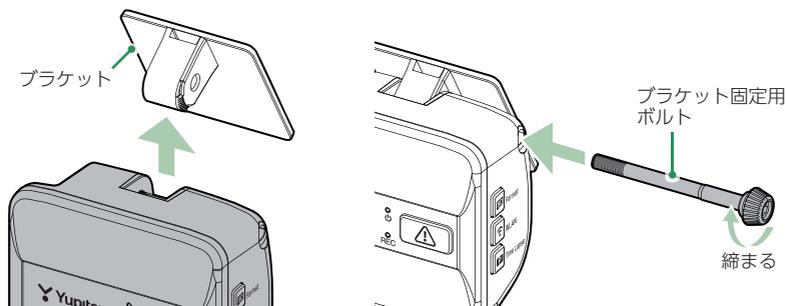


ブラケットに本体を装着したときに、電源コードが接続でき、ボタン操作がしやすい場所に取り付けてください。

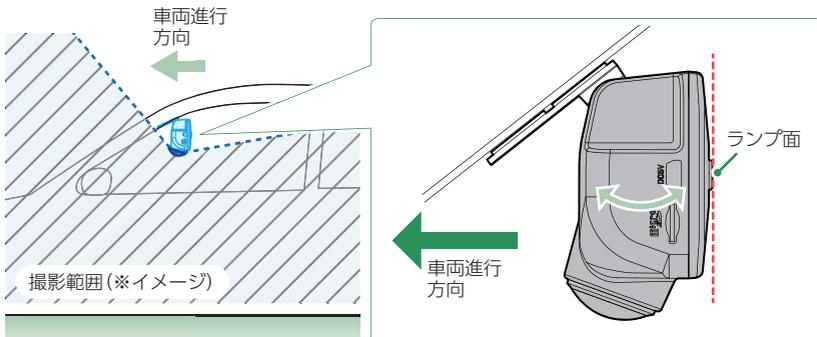
■ はがれの原因になるため下記内容を必ずご確認ください。

- ・フロントガラスの汚れ・脂分を落とすのにパーツクリーナー、ガラスクリーナー等は絶対に使用しないでください。
- ・サンシェード等の日除けを使用する際は、本体をフロントガラスとサンシェードの間に挟み込まないようにしてください。熱がこもりやすくなるため、両面テープはがれの原因となります。
- ・極端に気温が低い場合、両面テープの粘着が弱くなります。ドライヤーなどで粘着面を暖めてから貼り付けをしてください。
- ・貼り直しはテープの粘着力を弱め脱落する恐れがあります。
- ・固定力を強くするために本体を取付けず、24時間以上放置し、両面テープがしっかり貼り付くまで引っ張ったり無理な力をかけないように注意してください。
- ・両面テープの中央部が貼り付いていない場合など、両面テープ全体がフロントガラスに貼り付いていないとはがれることがあります。

1-2 ブラケットに本体を合わせ、ブラケット固定用ボルトで軽く固定する

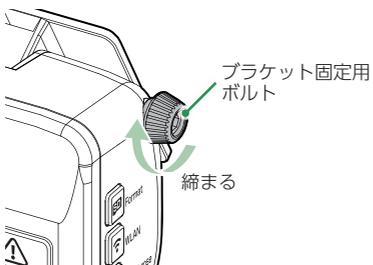


1-3 ランプ面が地面と垂直になるように調整する



※カメラレンズに触れないように調整してください。レンズに触れてしまうと、手の脂分などでレンズが汚れ、鮮明な映像が撮れなくなる恐れがあります。触れてしまった場合は、やわらかい布などに水を含ませて、軽く拭いてください。

1-4 ブラケット固定用ボルトを締めて固定する



位置がずれないように本体を押さえながらボルトを締めてください。

※ ボルトを締めた後は本体の向きを調整しないでください。ブラケットに無理な力が加わり、破損することがあります。ボルトを緩めてから調整してください。

2. 電源を接続する

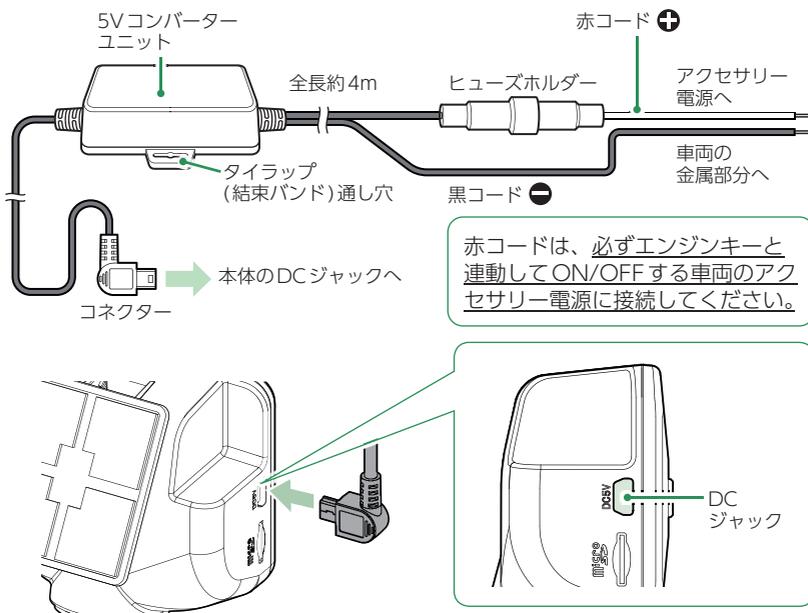
付属の電源コードを接続します。

※別売品で接続する場合は(P.32)を参照ください。

⚠ 注意

- ・作業中のショート事故防止のため、配線前に必ず車両のバッテリーのマイナス端子を外してください。
- ・カーナビやラジオ、オーディオなどが搭載した車両では、バッテリーの端子を外すと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリー内容を控えてください。

2-1 電源直結コードを接続する



付属の電源直結コードを本体のDCジャックと車両へ接続します。

※ 付属の電源直結コード、または別売品のACアダプター(P.17「別売品」)をご使用ください。

※ 作業中のショート事故防止のため、配線前に必ず車両のバッテリーのマイナス端子を外してから作業してください。

※ 電源はDC12V(マイナスアース)車専用です。24V車ではご使用いただけません。

※ 電源直結コードのコネクターは、正しい向きで接続してください。

誤った向きに接続すると故障や破損の原因になります。

うまく接続できないときは、接続部分を十分に確認してから接続してください。

市販品のタイラップ(結束バンド)や両面テープなどを使い、5Vコンバーターユニットを固定し、配線処理を行う

■ 次のような場所への固定や配線処理は避けてください。

- ・運転やエアバッグ作動時の妨げとなるような場所。
- ・エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
- ・直射日光の当たる場所。
- ・不安定な場所。
- ・配線の噛み込みや被覆の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
- ・車両の電装機器(アンテナ等含む)などの近く。
- ・水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所。

取り付けと配線完了後、ブレーキやライト、ホーン、ハザード、ウインカーなどの動作が正常に行われるか確認してください。
正常に動作しないと火災や感電、交通事故の原因となります。

別売品の取り付け

⚠ 注意

- ・作業中のショート事故防止のため、配線前に必ず車両のバッテリーのマイナス端子を外してください。
- ・カーナビやラジオ、オーディオなどが搭載した車両では、バッテリーの端子を外すと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリー内容を控えてください。
- ・OP-MB4000を3ヶ月以上使用しない場合は、電源コネクターを外してください。そのまま放置した場合、内蔵電池が完全放電し使用できない状態になることがあります。
※ 電源コネクターを外した場合でも接続する機器への電源供給は行えます。
- ・ディップスイッチを操作できる位置へ取り付けてください。

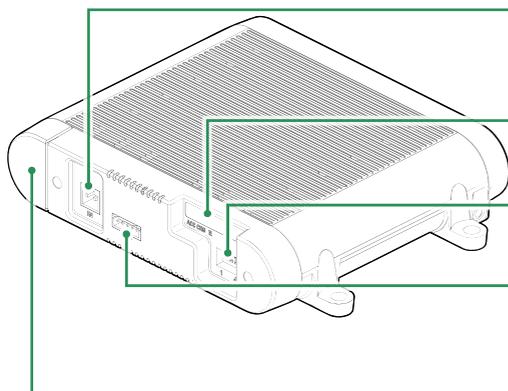
1. 12V/24V対応電源直結コード(OP-E1138)の接続方法

接続方法は付属の電源直結コードと同様になります。詳しくは P.30 「電源を接続する」を参照ください。

※ 電源はDC12V/24V(マイナスアース)車対応です。

2. マルチバッテリー(OP-MB4000)の接続方法

■ OP-MB4000



入力端子(DC 12V)

OP-MB4000付属の入力コードを接続します。

表示LED

給電・充電・電池残量をLEDで表示します。

ディップスイッチ

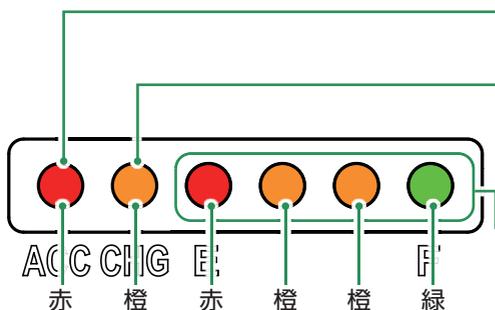
オフタイマー設定に使用します。

出力端子(DC 12V)

OP-MB4000付属の出力コードを接続します。

電源コネクター

■ 表示LEDについて



OP-MB4000に電源が供給されている時に点灯します。

充電中に点灯、動作温度範囲外で充電を停止し点滅します。

※ 高速点滅した場合は電池異常のためすぐに使用を中止してください。

電池残量をLEDの点灯数で表示します。

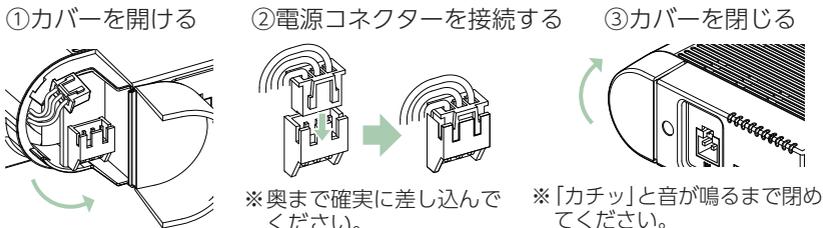
※ エンジンOFF後、5秒間点灯します。

※ 約3時間で満充電になります。

■ OP-MB4000 接続時に必要なもの

- ① OP-MB4000 ② OP-MB4000 付属入力コード ③ OP-MB4000 付属出力コード
④ 電源直結コード(ドライブレコーダー付属) ⑤ 市販品接続端子(ギボシ端子など)

2-1 電源コネクターを接続する



2-2 オフタイマー設定をする

エンジンOFF後、OP-MB4000内蔵電池から電源供給する時間を、ディップスイッチで設定(オフタイマー設定)します。

お買い上げ時(工場出荷時)のままでは、使用できません。エンジンOFF時にディップスイッチの操作を行ってください。エンジンONした際に設定が反映されます。

- ※ディップスイッチのON/OFFは、先の細いつまようじなどで行ってください。
- ※オフタイマー設定に関係なく、OP-MB4000内蔵電池が少なくなった場合にはOP-MB4000内蔵電池からの電源供給を自動的に停止し駐車記録は行いません。

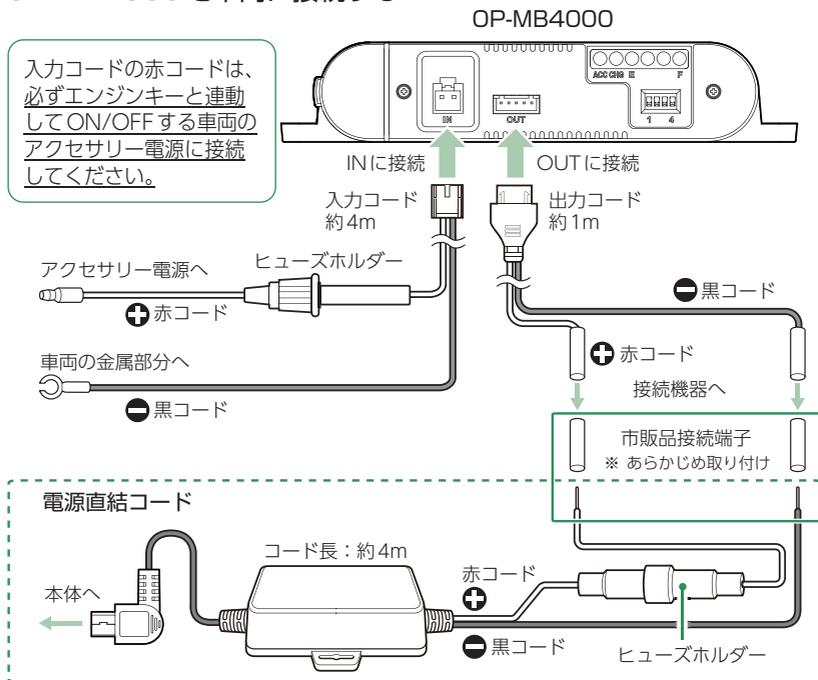
■ オフタイマー設定



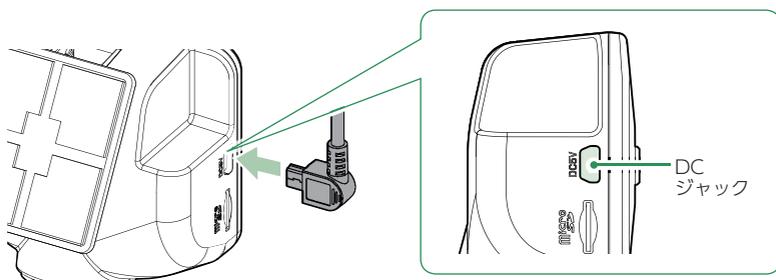
オフタイマー設定について

オフタイマー設定を[使用しない(0時間)]に設定した場合、駐車記録は行いません。OP-MB4000の内蔵電池を満充電したい場合や駐車記録を行わない場合などに設定してください。

2-3 OP-MB4000を車両に接続する



2-4 電源直結コードを接続する



付属の電源直結コードを本体のDCジャックへ接続します。

※電源直結コードのコネクターは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因となります。うまく接続できない場合は、接続部分を十分に確認してから接続してください。

2-5 OP-MB4000 付属の面ファスナーや市販品のタイラップなどで固定し、配線処理を行う

■ 次のような場所への固定や配線処理は避けてください。

- ・ 運転やエアバッグ作動時の妨げとなるような場所。
- ・ エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
- ・ 直射日光の当たる場所。
- ・ 不安定な場所。
- ・ 配線の噛み込みや被覆の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
- ・ 車両の電装機器（アンテナ等含む）などの近く。
- ・ 水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所。
- ・ ディップスイッチの操作ができない場所。

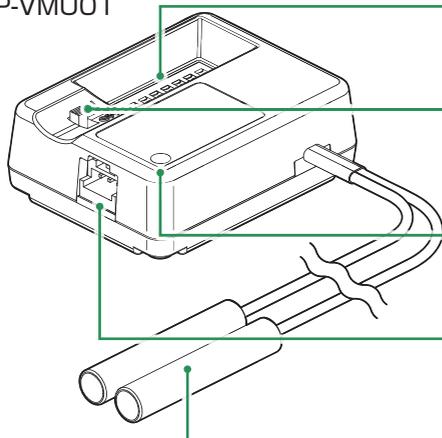
取り付けと配線終了後、ブレーキやライト、ホーン、ハザード、ウインカーなどの動作が正常に行われるか確認してください。
正常に動作しないと火災や感電、交通事故の原因となります。

3. 電圧監視機能付 電源ユニット(OP-VMU01)の接続方法

⚠ 注意

- ・ 作業中のショート事故防止のため、配線前に必ず車両のバッテリーのマイナス端子を外してください。
- ・ カーナビやラジオ、オーディオなどが搭載した車両では、バッテリーの端子を外すと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリー内容を控えてください。
- ・ 2日以上使用しない場合は、電源スイッチをOFFにしてください。車両バッテリー上がりの原因となります。
※ 電源スイッチをOFFにした場合でも接続する機器への電源供給は行えます。
- ・ ディップスイッチを操作できる位置へ取り付けてください。

■ OP-VMU01



ディップスイッチ

検出電圧設定とオフタイマー設定に使用します。

電源スイッチ

OP-VMU01の電源ON/OFFに使用します。
※ 2日以上使用されない場合は、電源スイッチをOFFにしてください。

表示LED(赤)

車両のエンジンON時、またはOP-VMU01の動作時にLED(赤)が点灯します。

入力端子

OP-VMU01付属の入力コードを接続します。

出力コード

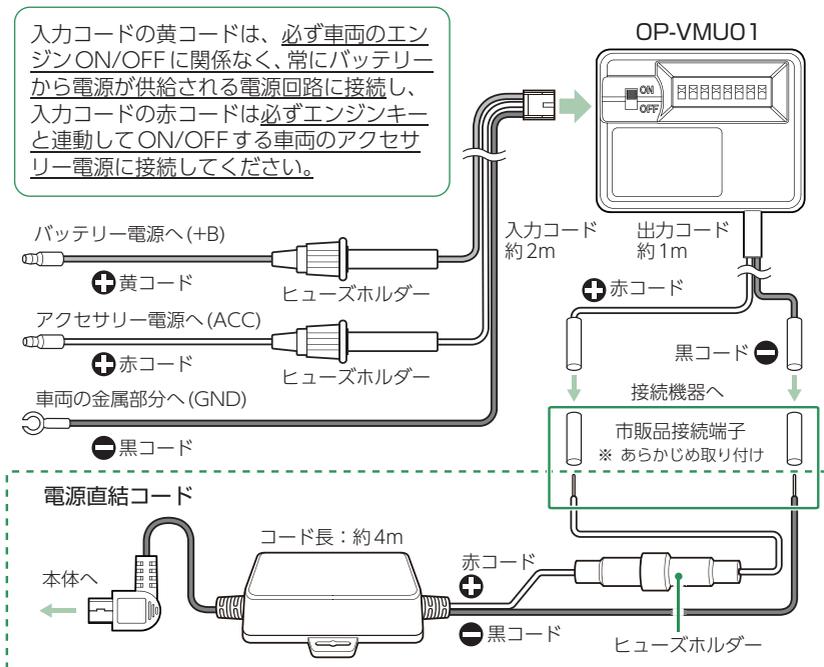
接続機器と接続します。

■ OP-VMU01 接続時に必要なもの

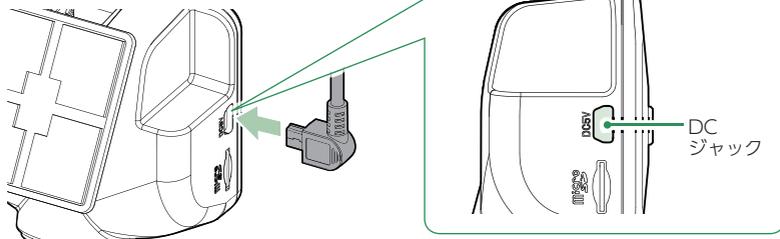
- ① OP-VMU01 ② OP-VMU01 付属入力コード
 ③ 電源直結コード(ドライブレコーダー付属)^{※1} ④ 市販品接続端子(ギボシ端子など)

※1: 24V車に接続する場合、別売品12V/24V対応電源直結コード(OP-E1138)が必要になります。

3-1 OP-VMU01 を車両に接続する



3-2 電源直結コードを接続する



※電源直結コードのコネクターは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因となります。うまく接続できない場合は、接続部分を十分に確認してから接続してください。

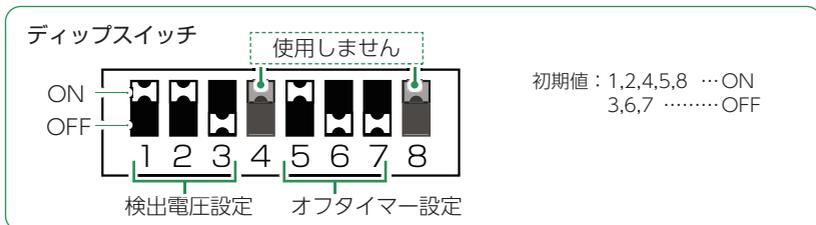
3-3 検出電圧設定とオフタイマー設定をする

エンジンOFF後、車両のバッテリーが設定したバッテリー電圧以下になると、車両のバッテリーから電源供給を停止する検出電圧設定と、エンジンOFF後、設定した時間になると車両のバッテリーから電源供給を停止するオフタイマー設定があります。

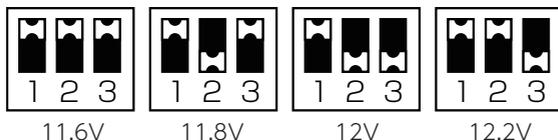
※ディップスイッチのON/OFFは、先の細いつまようじなどで行ってください。

※ディップスイッチの4、8は使用しません。初期値(ON)のまま変更しないでください。

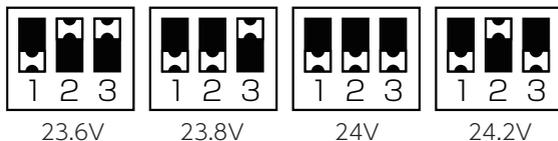
※オフタイマー設定に関係なく、検出電圧設定以下になった場合には車両のバッテリーから電源供給を停止します。



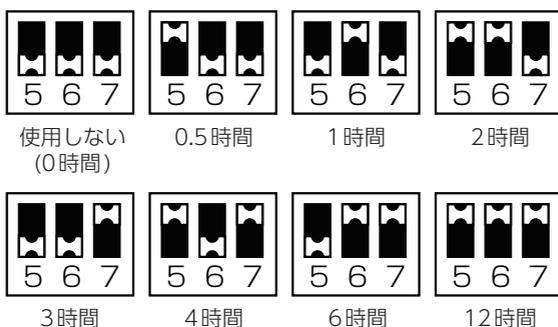
■ 検出電圧設定(1～3使用) 12V車



■ 検出電圧設定(1～3使用) 24V車



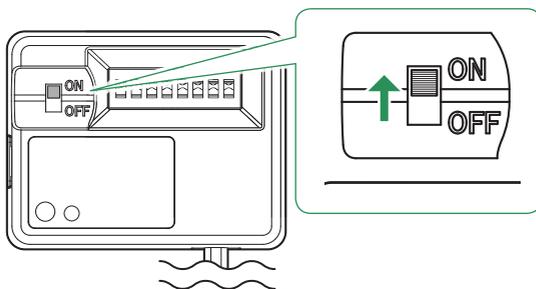
■ オフタイマー設定(5～7使用)



オフタイマー設定について

オフタイマー設定を[使用しない(0時間)]に設定した場合、駐車記録は行いません。駐車記録を行わない場合などに設定してください。

3-4 電源スイッチをONにする



3-5 OP-VMU01 付属の両面テープなどで固定し、配線処理を行う

■ 次のような場所への固定や配線処理は避けてください。

- ・運転やエアバグ作動時の妨げとなるような場所。
- ・エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
- ・直射日光の当たる場所。
- ・不安定な場所。
- ・配線の噛み込みや被覆の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
- ・車両の電装機器(アンテナ等含む)などの近く。
- ・水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所。
- ・ディップスイッチの操作ができない場所。

取り付けと配線終了後、ブレーキやライト、ホーン、ハザード、ウインカーなどの動作が正常に行われるか確認してください。
正常に動作しないと火災や感電、交通事故の原因となります。

電源 ON ~ OFF までの手順

ご購入後、初期値のまま使う場合は下記手順に沿って操作の確認をお願いします。

エンジン ON

エンジン OFF

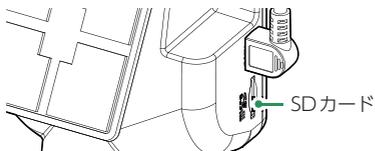


※付属品以外のSDカードを使用する場合、初回起動時に必ずフォーマットしてください。フォーマットしない場合、録画がうまくできない・録画可能時間が減少するなどの原因になります。

1. 電源 ON(録画を開始する)

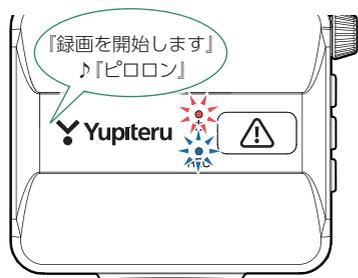
本機は、エンジンキーに連動して録画を開始します。

1-1 SDカードが挿入されていることを確認する



- ・SDカードが挿入されていないときは…
電源 OFF 後、電源ランプが3秒以上消灯したことを確認して、SDカードを挿入してください。
☛ P.18[SDカードの取り外し/装着]

1-2 車両のエンジンを ON する



- ・ランプについて
☛ P.76[動作一覧]

電源ランプ(赤)、録画ランプ(青)が点灯し録画を開始します。

・録画開始までの時間について…

本体の状態によって録画開始まで、数秒から最大40秒かかる場合があります。録画ランプの状態を確認してから走行を開始してください。

・GPS測位について…

購入後、初めて使用する場合、障害物や遮へい物のない見通しの良い場所で10分～20分程度通電状態にし、GPSの電波を受信(測位)させます。

2. SDカードをフォーマットする

必ず1～2週間に一度、本機または専用アプリでフォーマットを行ってください。
フォーマット方法は、● P.12、65を参照ください。

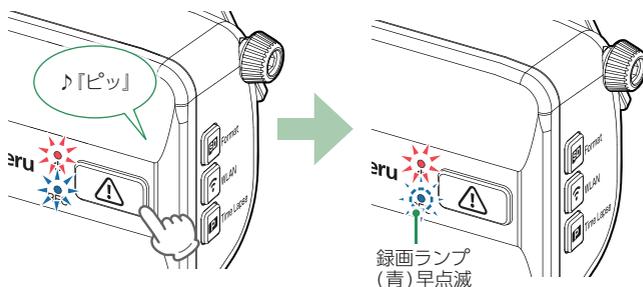
※付属品以外のSDカードを使用する場合、初回起動時に必ずフォーマットしてください。

フォーマットを行うと、全ての録画ファイルが削除されます。必要に応じてパソコン
やスマートフォンにバックアップなどしてからフォーマットしてください。

・録画ファイルのバックアップ… ● P.72「録画ファイルの読み出しについて」

3. ワンタッチ記録をする

3-1 常時録画中に、 ボタンを押す



録画ランプ(青)が早点滅します。

※ワンタッチ記録終了後は、自動で常時録画を開始します。

※ワンタッチ記録の詳細は、● P.20を参照ください。

4. 電源OFF(録画を停止する)

本機は、エンジンキーに連動して録画を停止します。

4-1 車両のエンジンをOFFする

録画が停止し、電源OFFになります。

撮影した映像は「専用アプリ」「専用ソフト」「パソコン」から確認することができます。

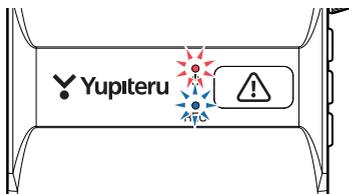
- ・専用アプリ …………… ● P.43「専用アプリについて」
- ・専用ソフト …………… ● P.66「専用ビューアソフトで再生する」
- ・パソコン …………… ● P.72「録画ファイルの読み出しについて」

別売品のマルチバッテリーまたは電圧監視機能付 電源ユニット接続時

※長時間駐車を行う場合は、タイムラプスマードにすることを勧めます。(P.23)

■ A : タイムラプスマードを使用する場合

A-1 車両のエンジンをOFFする



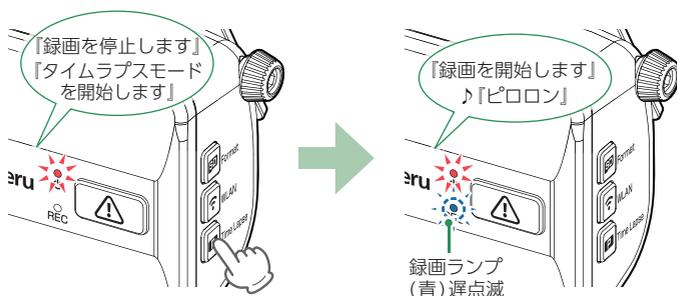
・駐車記録とは…

エンジンOFF状態で外部電源により駐車中に記録を行うこと。

録画を継続し、駐車記録を行います。

※別売品の設定によっては電源OFFします。

A-2 ボタンを押す



タイムラプスマードを開始します。タイムラプスマード中は録画ランプ(青)が遅点滅になります。

※タイムラプスマード中はフレームレートが1コマ/秒(1 FPS)になります。

A-3 車両のエンジンをONする

駐車記録が継続している場合、録画をタイムラプスマードで継続して行います。

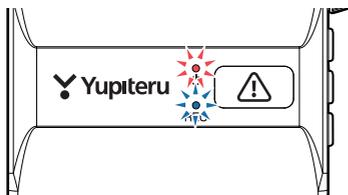
▶ ボタンを押してタイムラプスマードを終了してください。

終了後、自動で録画を開始します。

駐車記録が停止している場合、通常の録画を開始します。

■ B: タイムラプスモードを使用しない場合

B-1 車両のエンジンをOFFする



・ 駐車記録とは…

エンジンOFF状態で外部電源により駐車中に記録を行うこと。

録画を継続し、駐車記録を行います。
※別売品の設定によっては電源OFFします。

B-2 車両のエンジンをONする

駐車記録が継続している場合、録画を継続して行います。
駐車記録が停止している場合、録画を開始します。

■ 駐車記録時の動作



検出電圧設定、またはオフタイマー設定により駐車記録を停止します。(● P.33、37)

※マルチバッテリー (OP-MB4000) はオフタイマー設定のみになります

※強制的に駐車記録を停止する場合は、本体のDCジャックから電源コードを取り外してください。(● P.11)

専用アプリについて

専用アプリ「DR Remote TypeE」を使用し、スマートフォンと本機を無線LAN接続することにより、本機の録画ファイルをスマートフォンで再生したり、スマートフォンから録画操作や各種設定を行うことができます。

※本書では、iOS 端末で接続した場合の表示で記述しています。

※接続するスマートフォンの機種によっては、表示が異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

※以下の仕様を満たしたスマートフォン等で専用アプリを使用することができます。

iOS : 10、11、12、13

Android : 5、6、7、8、9、10 (Google Play 対応)

※ ただし、Intel Atom プロセッサ搭載モデルを除く。

(2020年5月現在)

1. 専用アプリをインストールする

専用アプリ「DR Remote TypeE」をスマートフォンにインストールします。
インストール方法、対応機種は下記のQRコードまたは弊社ホームページをご覧ください。

<https://www.yupiteru.co.jp/app/dr-remote-e/>



専用アプリ

2. 無線LAN接続する

※本機と無線LAN接続できる機器はスマートフォン1台です。

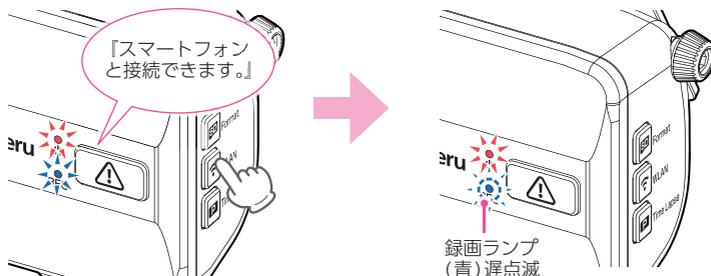
※無線LAN接続中はタイムラプスモードは行えません。(● P.23)

2-1 車両のエンジンをONする



電源ランプ(赤)、録画ランプ(青)が点灯し録画を開始します。

2-2 Wi-Fi ボタンを押す



録画ランプ(青)が遅点滅になり、無線LAN接続待機中になります。

※待機を中止する場合は、Wi-Fi ボタンを3秒以上長押ししてください。

※無線LAN接続待機中は、録画を行いませんのであらかじめご了承ください。

2-3 お使いのスマートフォンを本機の無線LANに接続する

接続方法はスマートフォンの取扱説明書に沿って接続してください。

本機の無線LANは「YP-」から始まるネットワーク名で表示されます。

※初めて接続する際は、パスワード(1234567890)の入力が必要です。

※接続を解除する場合は、Wi-Fi ボタンを3秒以上長押ししてください。

※約5分間接続されない場合は、無線LANがOFFになり自動で録画を開始します。

2-4 専用アプリアイコンにタッチし、[OK]にタッチする

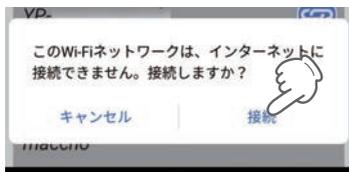


本機と接続し、ライブ映像画面を表示します。

※[常に自動接続]にタッチでON、またはアプリ設定で自動接続をON(▶ P.64)

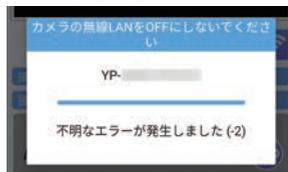
にすると、次回起動時に接続確認画面を表示せず、ライブ映像画面を表示することができます。

スマートフォンに下記の画面が表示されたら…



[接続]にタッチしてください。

※ [キャンセル]にタッチ、または無操作の場合は接続できません



無線LAN接続情報を一旦削除し、再度無線LAN接続を行ってください。

アプリとの接続が解除された場合は、下記の手順に沿って再接続してください。



①  にタッチする



② 本機のSSID名の右側  にタッチする



③  にタッチする



ライブ映像画面を表示します。

3. ライブ映像画面

※ 音は出ません。映像表示のみとなります。



<魚眼表示>

スマートフォンを横に向けると、
全画面表示になります。



| No. | 項目 | 説明 |
|-----|--------------------------------------|---|
| ① | 現在地 | 現在のスマートフォンの位置情報を表示します。 |
| ② | 音声ボタン | 音声記録のON/OFFを切り替えます。(P.50) |
| ③ | ビデオ表示モード ^{*1} ^{*2} | 映像表示を[魚眼][360° VR][2分割]で切り替えます。(P.47) |
| ④ | アルバム画面ボタン | 記録された録画ファイルを表示します。(P.52) |
| ⑤ | 動画撮影ボタン | 動画撮影を開始/停止します。(P.49) |
| ⑥ | メニューボタン | 表示、各設定などメニューリストが表示されます。(P.59) |
| ⑦ | カメラリストボタン | カメラリスト画面を表示します。 |
| ⑧ | SDカード残容量 | 本機のSDカード残容量を表示します。 ※ 録画中は「Recording」の文字を表示します。 |

※ 1 : 映像記録方式[2分割]ではアイコンは表示されません。

※ 2 : 映像記録方式[2分割]では映像表示は[2分割]で固定になります。

4. ビデオ表示モード

ライブ映像画面や再生画面の映像表示を切り替えることができます。

■ 映像表示を切り替える

4-1 ライブ映像画面、または再生画面の にタッチする



<ライブ映像画面>



<再生画面>



表示変更したい項目にタッチすると、映像表示が切り替わります。

| 表示名 | アイコン | 例：再生画面 |
|---------------------------------------|---|--|
| 魚眼表示 |  |  |
| 360° VR表示 ※ タッチ操作できます。 (☞ P.48) |  |  |
| 2分割表示 |  |  <div style="position: absolute; top: 10px; right: 10px;"> <p>前方映像</p> <p>車内映像</p> </div> |

5. 画面タッチ操作

ビデオ表示モード [360° VR] ではタッチ操作によって、移動や拡大/縮小できます。

※ ビデオ表示モード [魚眼][2分割] ではタッチ操作できません。

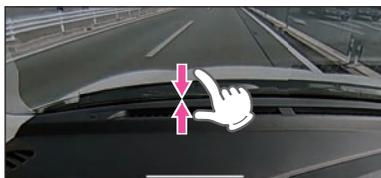
■ 移動

ドラッグ (画面に触れたまま指を動かす) することで任意の箇所へ移動できます。



■ 拡大/縮小

ピンチイン/ピンチアウト (2本の指で画面に触れたまま指の間隔を狭める/広げる) することで画面を拡大、縮小できます。



ピンチイン <縮小>



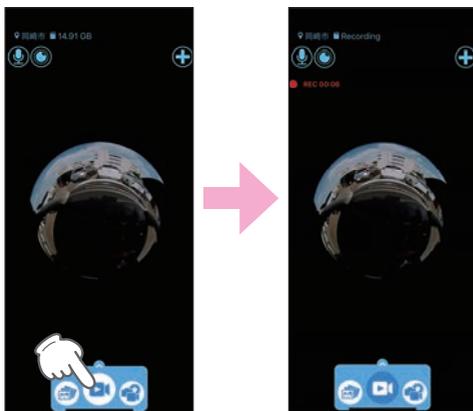
ピンチアウト <拡大>

専用アプリの操作

1. 録画操作

■ A：録画開始

A-1 ライブ映像画面の (動画撮影ボタン) にタッチする



※録画中は電源ランプ(赤)、録画ランプ(青)が遅点滅になります。



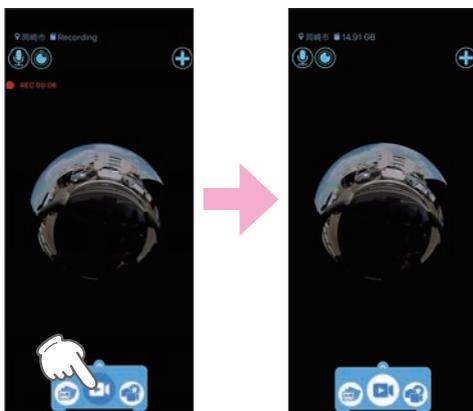
録画を開始します。

録画中は左上に赤色でRECと録画時間を表示し、は点滅します。

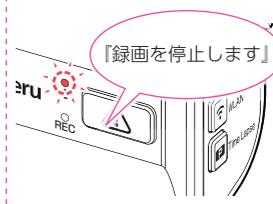
※専用アプリで録画中もイベント記録(Gセンサー記録/ワンタッチ記録)することができます。

■ B：録画停止

B-1 ライブ映像画面の (動画撮影ボタン) にタッチする



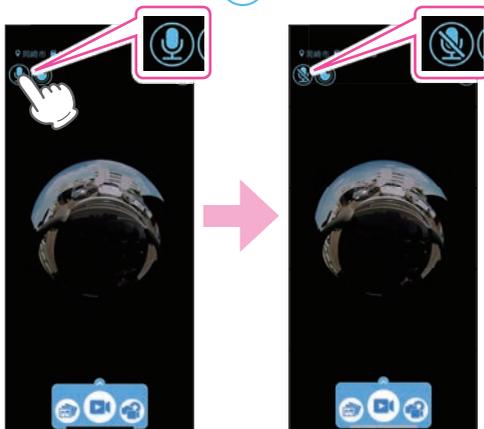
※録画停止中は電源ランプ(赤)のみ遅点滅します。



録画を停止します。

2. 音声記録をON/OFFする

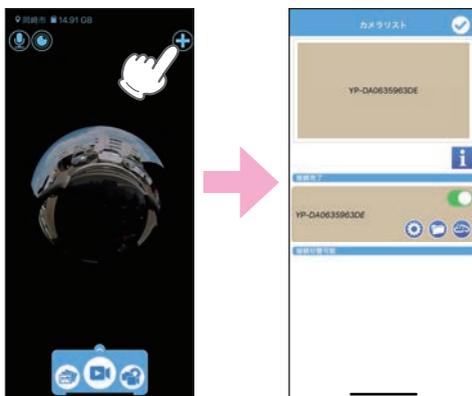
2-1 ライブ映像画面の (音声ボタン)にタッチする



音声録音がOFFになります。ONにする場合は、 にタッチしてください。

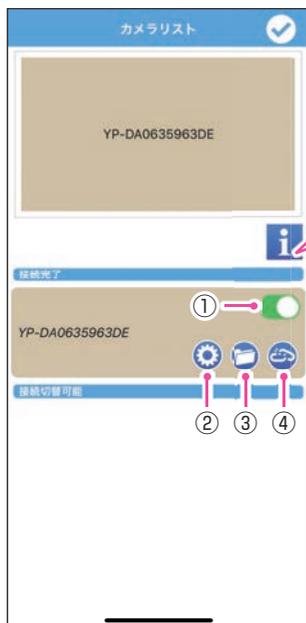
3. カメラリスト画面を表示する

3-1 ライブ映像画面の (カメラリストボタン)にタッチする



カメラリスト画面を表示します。

■ カメラリスト画面



無線LAN接続手順を表示します。



※ Android 端末では、左記アイコンになり、タッチするとWi-Fi設定画面を表示します。

 : ON
 : OFF

| No. | 項目 | 説明 |
|-----|-------------------|---|
| ① | ドライブレコーダー表示 | ドライブレコーダーの撮影映像をライブ映像画面に表示するか選択できます。  : ライブ映像画面に表示できます。  : ライブ映像画面に表示しません。 |
| ② | ドライブレコーダー設定ボタン | ドライブレコーダー設定画面を表示します。(P.62) |
| ③ | ドライブレコーダーフォルダーボタン | ドライブレコーダー、アプリで記録したファイルを開覧できます。(P.52) |
| ④ | 接続ボタン | ドライブレコーダーと接続/接続解除することができます。 接続をする場合は  をタッチしてください。 接続を解除する場合は  をタッチしてください。 |

再生

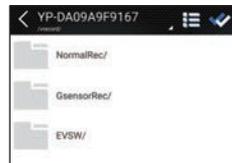
1. アルバム画面を表示する

本機で記録した映像をスマートフォンで再生することができます。

1-1 ライブ映像画面の (アルバム画面ボタン) にタッチする



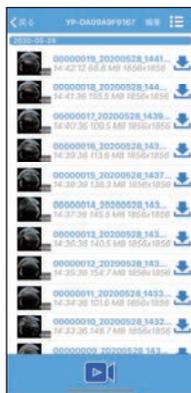
※ Android 端末では、録画方法によりフォルダが分かれて表示されます。



常時録画：「NormalRec/」
Gセンサー記録：「GsensorRec/」
ワンタッチ記録：「EVSW/」

ファイルリスト画面を表示します。

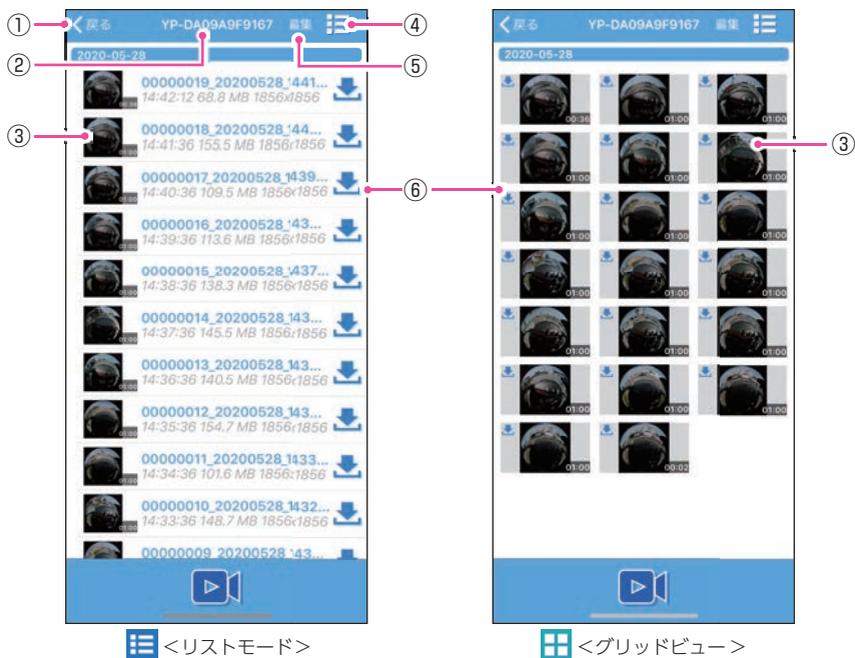
1-2 (ドライブレコーダーフォルダ) にタッチする



アルバム画面を表示します。

ローカルフォルダ、カメラロールは  P.56 を参照ください。

■ アルバム画面



| No. | 項目 | 説明 |
|-----|----------------|---|
| ① | <戻る> | 前の画面に戻ります。 |
| ② | フォルダ名 | 現在閲覧しているフォルダ名を表示します。 ※ タッチすると録画ファイルの閲覧先を変更できます。(P.56) |
| ③ | 録画ファイル情報 | 録画ファイルの情報を表示します。 |
| ④ | リスト表示 変更ボタン | リストの表示内容を変更できます。 ≡ リストモード、 ≡ グリッドビュー |
| ⑤ | 編集 | ファイル選択画面に移動します。(P.58) |
| ⑥ | ダウンロードボタン | スマートフォンに録画ファイルを保存します。(P.54) |

2. 再生する

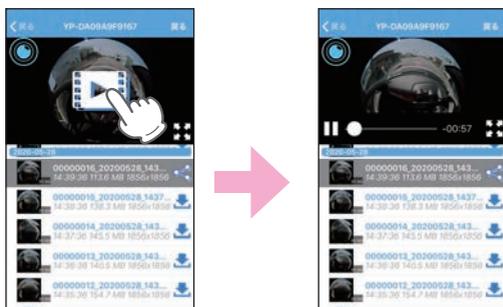
2-1 再生したい録画ファイルにタッチし、 (ダウンロードボタン)にタッチする



ダウンロードが完了すると  アイコンを表示します。

※ ダウンロードした録画ファイルはスマートフォン(ローカルフォルダー)に保存(コピー)されます。

2-2 にタッチする



録画ファイルを再生します。

※ 音声はスマートフォンから出ます。音量の調整はスマートフォン側で行ってください。

スマートフォンを横に向けると、全画面表示になります。



■ 再生画面



| No. | 項目 | 説明 |
|-----|----------|--|
| ① | <戻る | 前の画面に戻ります。 |
| ② | ビデオ表示モード | 表示モードを[魚眼][360° VR][2分割]で切り替えることができます。(P.47) |
| ③ | 再生中ファイル | 再生中の録画ファイルは背景が反転して表示されます。 |
| ④ | 戻る | ライブ映像画面に戻ります。(P.46) |
| ⑤ | 再生ボタン | ▷：再生します。⏸：一時停止します。 |
| ⑥ | タイムライン | タッチした位置から再生できます。 |
| ⑦ | 再生時間 | 録画ファイルの再生時間を表示します。 |
| ⑧ | 表示切替 | 全画面表示に切り替えます。 |

※ 数秒でタイムラインなどの表示は消えます。再度表示する場合は、画面にタッチしてください。

3. 閲覧先のフォルダを変更する

3-1 フォルダ名にタッチする



閲覧したいフォルダにタッチしてください。以下のフォルダ先を閲覧することができます。

| No. | 項目 | 説明 |
|-----|------------------------------|---------------------------------|
| ① | ローカルフォルダー | スマートフォンへ保存(コピー)した録画ファイルを開覧できます。 |
| ② | カメラロール | スマートフォン内全データ一覧を閲覧できます。 |
| ③ | ドライブレコーダーフォルダー (本機のSSID名) | ドライブレコーダー、アプリで記録したファイルを開覧できます。 |

録画ファイルの保存(コピー)/削除

1. 録画ファイルを保存(コピー)する

1-1 アルバム画面を表示する(☛ P.52)

1-2 保存したい録画ファイルの  (ダウンロードボタン)にタッチする



スマートフォンに保存(コピー)されます。

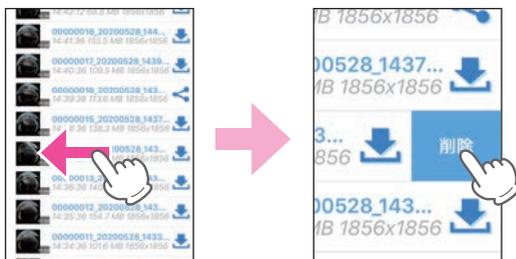
保存されている場合は  になり、タッチするとSNSなどに録画ファイルを共有することができます。

※ ローカルフォルダーに保存(コピー)されます。(☛ P.56)

2. 録画ファイルを削除する

2-1 アルバム画面を表示する(☛ P.52)

2-2 削除したい録画ファイルを左にフリックし、[削除]にタッチする



録画ファイルが削除されます。

録画ファイルをまとめて選択したい場合は右上の[編集]にタッチしてファイル選択画面を表示してください。

録画ファイルにタッチで複数選択することができます。



設定画面の表示方法

設定変更にはあらかじめ、専用アプリのインストールと本機との無線LAN接続が必要になります。準備してから行ってください。(P.43)

1. ドライブレコーダー設定画面を表示する

■ A : 表示方法 ①

A-1 ライブ映像画面の (メニューボタン) にタッチする



・ライブ映像画面の表示方法は…
P.43「専用アプリについて」

A-2 (その他設定) にタッチする



ドライブレコーダー設定画面を表示します。

映像記録方式のアイコンにタッチすると、記録映像の形式を変更することができます。

魚眼：録画した映像そのままに記録します。

2分割：前方と車内の2画面の映像で記録します。

※ [2分割] に設定した場合、ビデオ表示モードは [2分割] で固定になります。

(P.47)



■ B : 表示方法 ②

B-1 カメラリスト画面を表示する(☞ P.50)

B-2 本機のSSID名の  にタッチする



ドライブレコーダー設定画面を表示します。

2. アプリ設定画面を表示する

2-1 ドライブレコーダー設定画面を表示する(☞ P.59)

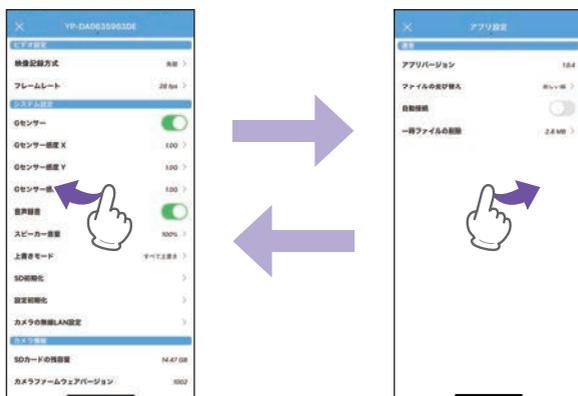
2-2 本機のSSID名にタッチし、[アプリ設定]にタッチする



アプリ設定画面を表示します。

<アプリ設定画面>

設定画面を左右フリックすることで設定画面を切り替えることができます。



<ドライブレコーダー設定画面>

<アプリ設定画面>

設定画面

1. ドライブレコーダー設定画面

ドライブレコーダー本体の設定を変更することができます。

※ドライブレコーダー設定画面の表示方法は ◀ P.59 を参照ください。



: ON
 : OFF

★は初期値です。

| No. | 項目 | 設定 | 説明 |
|-----|-----------|--------------------|--|
| ① | 映像記録方式 | 魚眼(★) | 記録映像の方式を設定します。 魚眼：録画した映像そのままに記録します。 |
| | | 2分割 | 2分割：前方と車内の2画面の映像で記録します。 |
| ② | フレームレート※1 | 28 fps(★) | 1秒あたりのコマ数を設定します。 |
| | | 14 fps | |
| ③ | Gセンサー | ON(★) | Gセンサー記録を使用するかON/OFFで設定します。 |
| | | OFF | |
| ④ | Gセンサー感度X | 0.5G ~ 4.0G(1.0G★) | X(前後方向)、Y(左右方向)、Z(上下方向)の衝撃感度を0.1Gステップで個別に設定します。感度は、数字が小さくなると「敏感」になり、大きくなると「鈍感」になります。 |
| ⑤ | Gセンサー感度Y | | |
| ⑥ | Gセンサー感度Z | | |
| ⑦ | 音声録音 | ON(★) | 音声録音のON/OFFを設定します。 |
| | | OFF | |

※1：タイムラプスモード中の1ファイルの記録時間は、フレームレートが反映されます。
 (28：28分、14：14分)

★は初期値です。

| No. | 項目 | 設定 | 説明 |
|-----|-----------------|-----------------------------|--|
| ⑧ | スピーカー音量 | オフ/20/40/60/ 80/100% (★) | 本機の音量を設定します。 |
| ⑨ | 上書きモード | すべて上書き (★) | それぞれの記録方法で上限に達した場合、それぞれの記録方法の古い録画ファイルから自動削除して上書きされます。 |
| | | 常時録画上書き | それぞれの記録方法で上限に達した場合、録画ファイルは常時録画のみ古い録画ファイルから自動削除して上書きされます。 |
| | | 上書き禁止 | それぞれの記録方法で上限に達しても、録画ファイルは上書きされません。 |
| ⑩ | SD初期化 | キャンセル | SDカードを初期化(フォーマット)します。 |
| | | 実行 | |
| ⑪ | 設定初期化 | キャンセル | 本機をご購入時の設定に戻します。 |
| | | 実行 | |
| ⑫ | カメラ無線LAN設定 | — | 本機の無線LAN名称(SSID)や無線LANパスワードを設定します。 ※ 8文字以上16文字以内。 |
| ⑬ | SDカード残容量 | — | 本機のSDカード残容量を表示します。 |
| ⑭ | カメラファームウェアバージョン | — | 本機のバージョンを表示します。 |

2. アプリ設定画面

アプリで使用できる機能を設定することができます。

※アプリ設定画面の表示方法は  P.60 を参照ください。



 : ON
 : OFF

★は初期値です。

| No. | 項目 | 設定 | 説明 |
|-----|-----------|---------|----------------------------------|
| ① | アプリバージョン | — | アプリのバージョンを表示します。 |
| ② | ファイルの並び替え | 古い順 | 録画ファイルを新しい順、または古い順に並び替えて表示します。 |
| | | 新しい順(★) | |
| ③ | 自動接続 | ON | アプリ起動時、ドライブレコーダーと自動接続するか設定します。 |
| | | OFF(★) | |
| ④ | 一時ファイルの削除 | キャンセル | 作業時に一時的に保存されるファイル(一時ファイル)を削除します。 |
| | | 実行 | |

SDカード初期化(フォーマット)

必ず1～2週間に一度、フォーマットを行ってください。

※付属品以外のSDカードを使用する場合、初回起動時に必ずフォーマットしてください。

※フォーマットを行うと、録画ファイルは全て削除されます。必要に応じてパソコンやスマートフォンにバックアップなどしてからフォーマットしてください。(●P.72)

※本機でもフォーマットを行うことができます。(●P.12)

1. SDカードをフォーマットする

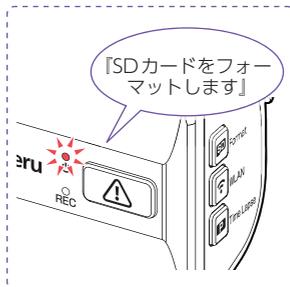
1-1 ドライブレコーダー設定画面の[SD初期化]にタッチする



・ドライブレコーダー設定画面の表示方法は…

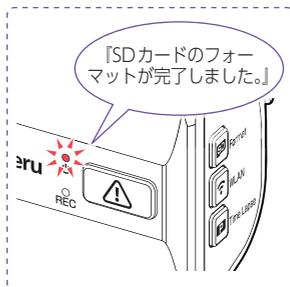
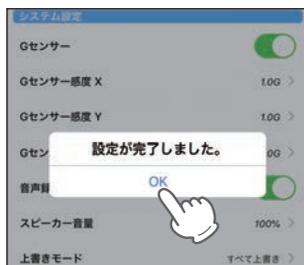
● P.59「設定画面の表示方法」

1-2 [実行]にタッチする



フォーマットを開始します。

1-3 [OK]にタッチする



フォーマットが完了します。

専用ビューアソフトで再生する

本機で録画した映像は、パソコンに専用ビューアソフト「PCViewer TypeN」をインストールすることにより、Google Mapsと連動させて表示することができます。

1. 専用ビューアソフトをインストールする

弊社ホームページより専用ビューアソフトをダウンロードし、インストールを行ってください。(https://www.yupiteru.co.jp/)

■ 再生する場合

OS : Microsoft Windows 10
CPU : Intel Core i3、2.7GHz 以上
メモリ : 4GB 以上

■ 画像処理機能^{*1}を動作させる場合

OS : Microsoft Windows 10
CPU : Intel Core i5、3.0GHz 以上
メモリ : 8GB 以上
(2020年4月現在)

- ※1：映像記録方式の設定「魚眼」で記録した録画ファイルを表示切替(前方表示など)すること。
- ※CPU性能、RAMの状態、他アプリケーションの同時作動等、環境の起因によって動画再生のコマ落ち等の不具合が起こる場合があります。
- ※誤って専用ビューアソフトを削除した場合、またはOSやシステムのアップデートにより正常に動作しなくなった場合は、弊社ホームページより最新の専用ビューアソフトをダウンロードしてください。
- ※WindowsのアップデートやGoogleマップの仕様変更などにより、専用ビューアソフトで地図が表示できないなど、正しく動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。

2. 専用ビューアソフトを起動する

2-1 [PCViewer TypeN] アイコンをクリックする

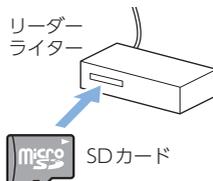
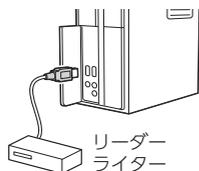


専用ビューアソフトが起動します。

※専用ビューアソフトをインストールする際、デスクトップ上にアイコンを作成できます。

3. 録画ファイルを再生する

3-1 リーダーライターをパソコンに接続し、SDカードをリーダーライターに接続する



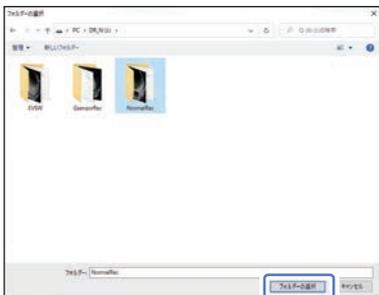
3-2

 (フォルダを再生リストに読込) をクリックする



3-3

接続したSDカードのフォルダを選択し、[フォルダーの選択]をクリックする



・フォルダ名について

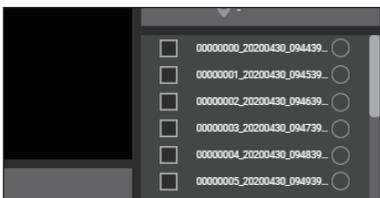
常時録画 …… [NormalRec] フォルダ
Gセンサー記録 … [GsensorRec] フォルダ
ワンタッチ記録 … [EVSW] フォルダ

※ Gセンサー記録やワンタッチ記録がない場合、
[GsensorRec]フォルダや[EVSW]フォルダは、
生成されません。

選択したフォルダの録画ファイルを読み込みます。

3-4

録画ファイルをダブルクリックする



・専用ビューアソフトの詳細は…
● P.68「専用ビューアソフト」

選択した録画ファイルを再生します。

4. 専用ビューアソフトを終了する

4-1

専用ビューアソフト右上の × をクリックする



専用ビューアソフトが終了します。

専用ビューアソフト

専用ビューアソフトでは、映像の再生や自車位置、Gセンサーグラフ等を表示できます。

※インストール方法は、弊社ホームページをご確認ください。(https://www.yupiteru.co.jp/)

※自車位置の表示にはインターネット接続環境が必要です。

1. 専用ビューアソフトの画面について



<標準表示(魚眼表示)>



<全画面表示(魚眼表示)>

| No. | 表示名 | 説明 | |
|-----|----------------|--|--|
| ① | ソフトウェア名称 | 専用ビューアソフトの名称を表示します。 | |
| ② | ファイル コントロール |  再生/ 一時停止 | 録画ファイルを再生/一時停止します。 ※ 再生リストに複数の録画ファイルがある場合、 連続して再生します。 ※ 再生画面をクリックでも再生/一時停止できます。 |
| | |  前のフレーム | クリック毎に1フレーム前の映像を表示します。 |
| | |  静止画変換 | 再生中、一時停止中の映像から静止画(JPEG ファイル)に変換して保存します。 |
| | |  次のフレーム | クリック毎に1フレーム後の映像を表示します。 |
| | |  前のファイル | 前の録画ファイルを再生します。 |
| | |  次のファイル | 次の録画ファイルを再生します。 |
| | |  再生速度を 下げる | クリック毎に早戻し速度が変化します。 (1.0 ~ 0.3 倍速) |
| | |  再生速度を 上げる | クリック毎に早送り速度が変化します。 (1.0 ~ 4.0 倍速) |
| ③ | Gセンサーグラフ | 録画ファイルに埋め込まれているGセンサーデータをX軸、Y軸、Z軸 でグラフ表示します。 | |
| ④ | バージョン情報 | 専用ビューアソフトのバージョンを表示します。 | |
| ⑤ | 再生時間 | 再生中の現在時間/全体時間を表示します。 | |
| ⑥ | タイムライン | クリック位置から再生できます。 | |
| ⑦ | 音量 | アイコンクリックでミュートON/OFFできます。 アイコンにカーソルを合わせると音量バーが表示され、左右操作で 音量を調整できます。 | |
| ⑧ | 表示切替 | クリック毎に画面表示/アイコンが切り替わります。(P.71) ※ 映像記録方式を[2分割]で記録した録画ファイルは、2分割表示で固定になります。 | |
| ⑨ | 全画面表示 | 全画面表示になります。 | |
| ⑩ | 記録日時 | 記録した日時を表示します。 | |
| ⑪ | メニュー |  全て選択 | 全てのファイルにチェックを入れます。 ※ ファイルを個別に選択する場合は、ファイル名の 左側チェックボックスをクリックしてください。 |
| | |  フォルダを選択 | フォルダ内のファイルを再生リストに追加します。 |
| | |  ファイルを選択 | 1 ファイルを再生リストに追加します。 |
| | |  削除 | チェックが入った録画ファイルを削除します。 |
| | |  全てループ | ループ(繰り返し)の動作を切り替えます。  : 再生リストループ再生します。 |
| | |  1ファイル ループ |  : 1 ファイルをループ再生します。 |
| | |  ループしない |  : 再生リスト最後の録画ファイルを再生後、 停止します。 |

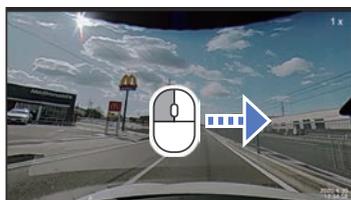
| No. | 表示名 | 説明 | |
|-----|-------|--|---------------------|
| ⑫ | 再生リスト | 録画ファイルの録画終了日時(年月日と時分秒)を表示します。 映像記録方式が「魚眼」の場合、  アイコンが表示されます。 ※ ファイル名の詳細は  P.72「録画ファイルの読み出しについて」を参照ください。 | |
| ⑬ | 緯度経度 | GPS で記録した緯度経度を表示します。 ※ GPS データがない場合は変化しません。 | |
| ⑭ | 走行速度 | GPS で記録した走行速度を表示します。 ※ GPS データがない場合は変化しません。 | |
| ⑮ | 標高 | GPS で記録した標高を表示します。(単位：メートル(m)) ※ GPS データがない場合は変化しません。 | |
| ⑯ | 地図 | 読み込まれた映像は Google Maps に連動して自車位置が移動します。 ※ インターネットに接続されていないと、地図(Google Maps)は表示されません。 | |
| ⑰ | 再生速度 | 再生速度を表示します。(0.3 ~ 4.0 x) | |
| ⑱ | プログラム | - 最小化 | ウィンドウを最小化します。 |
| | | □ 最大化 / 元に戻す | ウィンドウを最大化 / 元に戻します。 |
| | | × 閉じる | ソフトウェアを終了します。 |

2. 表示エリアの操作について

※ 映像記録方式を [2 分割] で記録した録画ファイル、または魚眼表示では操作できません。あらかじめご了承ください。

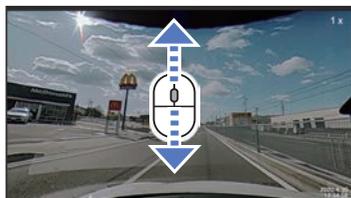
■ 移動

マウスの左ボタンをドラッグで表示させたい部分まで移動します。



■ 拡大/縮小

マウスのホイールボタンを前後に回転させ画面を拡大 / 縮小します。



< 拡大 >



< 縮小 >

3. 表示切替について

○ ◻ ◻ ◻ (表示切替) アイコンをクリックすることで画面表示を変更できます。

※ 映像記録方式を[2分割]で記録した録画ファイルは、2分割表示で固定になります。

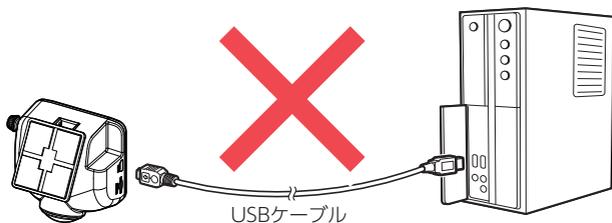
| 表示名 | アイコン | 画面 |
|-------|---|--|
| 魚眼表示 |  |  |
| 前方表示 |  |  |
| 車内表示 |  |  |
| 2分割表示 |  |  |

録画ファイルの読み出しについて

本機で録画した映像は、通常のファイルと同じようにパソコンで扱うことができます。下記の仕様を満たしたパソコンで再生することができます。

OS : Microsoft Windows 10
CPU : Intel Core i3、2.7GHz 以上
メモリ : 4GB 以上

(2020年4月現在)



- ※CPU性能、RAMの状態、他アプリケーションの同時作動等、環境の起因によって動画再生のコマ落ち等の不具合が起こる場合があります。
- ※対応OSや動作環境に関する最新情報は、ホームページをご確認ください。
- ※本体とパソコンを、直接USBケーブルなどで接続しないでください。
本体からSDカードを取り出して、SDカードをパソコンと接続してください。
- ※推奨環境の全てのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- ※再生する動画の種類によっては処理能力が高いパソコンが必要になります。お使いになるパソコン環境によっては正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。
- ※CPUやメモリが動作環境に満たない場合、再生時の動作が遅くなる場合があります。
- ※ご使用のSDカード容量に対応していないSDカードリーダーライターを使用した場合、SDカード内のファイルが破損することがあります。

■ ファイル名について

ファイル番号(00000000 ~ 99999999)は、記録した順に本機で自動設定されます。

例 00000000 _ 20200315 _ 123456 . mp4 — 動画

ファイル番号 記録日(年月日) 記録時間(時分秒)

※ ファイル番号99999999後は、「SDカードエラーです」と音声でお知らせします。必要に応じて録画ファイルをパソコンなどにバックアップしてから、本機または専用アプリでフォーマットしてください。(● P.12、65)

■ フォルダ構造について

各ファイルは、下記のフォルダ構造で保存されています。

SDカード

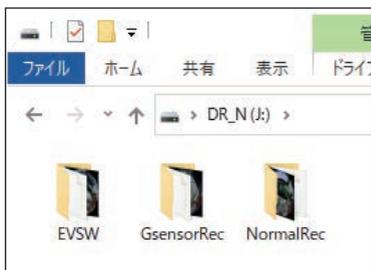
- NormalRec ——— 00000000_20200315_123456.mp4
- GsensorRec ——— 00000001_20200315_123556.mp4
- EVSW ————— 00000002_20200315_123656.mp4

1. 専用ビューアソフトを使用せずに録画ファイルを再生する

1-1 リーダーライターをパソコンに接続し、SDカードをリーダーライターに接続する



1-2 SDカードを開き、再生したいファイルがあるフォルダを開く

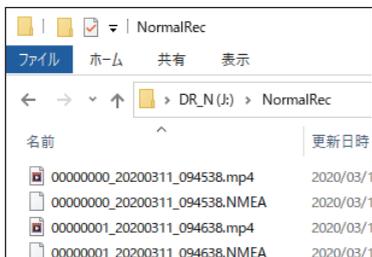


・フォルダ名について

常時録画…[NormalRec]フォルダ
Gセンサー記録…[GsensorRec]フォルダ
ワンタッチ記録…[EVSW]フォルダ

※ Gセンサー記録やワンタッチ記録がない場合、
[GsensorRec]フォルダや[EVSU]フォルダは、
生成されません。

1-3 録画ファイルをダブルクリックする



・[.nmea]ファイルについて

GPSの位置情報やGセンサー情報などが記録されているファイルです。

削除すると、専用ビューアソフトで走行速度などが表示されなくなります。

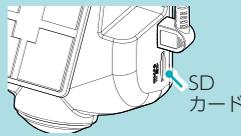
Windows標準の「映画&テレビ」で再生することができます。

こんなときは

本機に異常などがあった場合にランプと音声でお知らせします。

※SDカードエラーが頻繁に出る場合は、新しいSDカードに交換してください。

※スピーカー音量[オフ]では、音声によるお知らせをしません。あらかじめご了承ください。

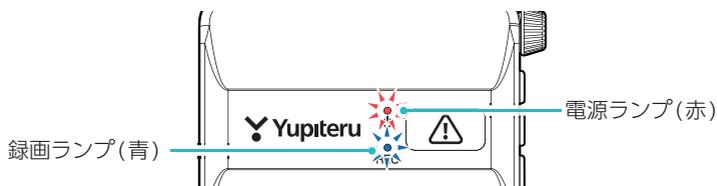
| 音声 | 対処方法 |
|----------------------------------|---|
| 『SDカードが挿入されていません。SDカードを挿入してください』 | <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> SDカードが正しく挿入されていますか。(● P.18) ※電源ON中にSDカードの抜き差しを行った場合、自動で再起動します。  |
| 『SDカードエラーです』 | <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> SDカードの容量は、下記の対応範囲内ですか。<ul style="list-style-type: none">・記録媒体：microSDHCカード/microSDXCカード・容量：8～128GB・SDスピードクラス：Class10以上<input type="checkbox"/> SDカードが正しく挿入されていますか。(● P.18) ※電源ON中にSDカードの抜き差しを行った場合、自動で再起動します。<input type="checkbox"/> SDカードをフォーマットしてください。 フォーマットを行うと、全ての録画ファイルが全て削除されます。必要に応じて録画ファイルをパソコンなどにバックアップしてから、本機または専用アプリでフォーマットしてください。(● P.12、65) |
| 『SDカードの容量が不足しているため、常時録画できません』 | <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 上書きモードが[上書き禁止]になっていませんか。 上書きモードを[上書き禁止]に設定した場合、常時録画がSDカード容量の上限に達すると、録画を停止します。 上書きモードの設定は、 ● P.21を参照ください。<input type="checkbox"/> SDカードをフォーマットしてください。 フォーマットを行うと、保護したファイルも全て削除されます。必要に応じて録画ファイルをパソコンなどにバックアップしてから、本機または専用アプリでフォーマットしてください。(● P.12、65) |
| 『SDカードの容量が不足しているため、イベント記録できません』 | <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 上書きモードが[上書き禁止]または[常時録画上書き]になっていませんか。 上書きモードを[上書き禁止]または[常時録画上書き]に設定した場合、イベント記録が最大記録ファイル数に達すると、イベント記録を停止します。上書きモードの設定は、[設定メニュー]→[上書きモード]で確認できます。(● P.62) |

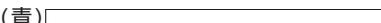
『SDカードのフォーマットができませんでした』

『対応していないSDカードです。SDカードを交換してください』

- SDカードの容量は、下記の対応範囲内ですか。
 - ・記録媒体：microSDHCカード/microSDXCカード
 - ・容量：8～128GB
 - ・SDスピードクラス：Class10以上
- SDカードが正しく挿入されていますか。(● P.18)
※電源ON中にSDカードの抜き差しを行った場合、自動で再起動します。
- 他の機器で認識することができるかを確認してください。
本機からSDカードを取り外し、パソコンなどの機器に接続して、SDカードが認識できるか確認してください。

動作一覧



| 動作一覧 | 電源ランプの状態 電源ランプ(赤)/録画ランプ(青) | 音/音声 | 参照 ページ |
|-----------------|--|--|--------------|
| 録画準備中/ 録画停止中 | 通常時 (赤)  : 点灯 (青)  : 消灯 | 停止時に 『録画を停止します』 | — |
| | 無線LAN接続時 (赤)  : 遅点滅 (青)  : 消灯 | | |
| 常時録画中 | 通常時 (赤)  : 点灯 (青)  : 点灯 | 開始時に 『録画を開始します』 『ピロロン』 | P.39 |
| | 無線LAN接続時 (赤)  : 遅点滅 (青)  : 遅点滅 | | P.49 |
| | タイムラプスモード時 (赤)  : 点灯 (青)  : 遅点滅 | 開始時に 『タイムラプスモードを開始します』 | P.23 |
| イベント 記録中 | 通常時/タイムラプスモード時 (赤)  : 点灯 (青)  : 早点滅 | 開始時に 『ピッ』 | P.20 P.40 |
| | 無線LAN接続時 (赤)  : 遅点滅 (青)  : 早点滅 | | |
| 無線LAN 接続待機中 | (赤)  : 点灯 (青)  : 遅点滅 | 開始時に 『スマートフォンと 接続できます』 | P.43 |
| 異常時 | (赤)  : 早点滅 (青)  : 消灯 |  P.74を参照ください。 | |
| 電源OFF | (赤)  : 消灯 (青)  : 消灯 | — | — |

故障かな？と思ったら

電源がONにならない

- 電源内部のヒューズが切れていないか確認してください。
ヒューズホルダーを矢印の方向に回してヒューズを取り出します。



電源はONになるが本体が起動しない

- リセットボタンを押して再起動してください。(☛ P.15)
- SDカードを取り外して起動してください。
起動する場合はSDカードが原因となっている可能性があります。本機に対応したSDカードをご確認ください。(☛ P.82)

車両のエンジンをOFFしても本体電源がOFFにならない

- 別売品のマルチバッテリーまたは電圧監視機能付 電源ユニットを接続していませんか。
設定によっては車両のエンジンOFF後も本体に電源を供給するため本体電源はOFFになりません。強制的に電源OFFする場合は、電源コードを取り外してください。(☛ P.11)

映像が記録できない

- SDカードが正しく挿入されていますか。(☛ P.18)

ワンタッチ記録ができない

- タイムラプスモードではありませんか。
タイムラプスモード中は[ワンタッチ記録]を行うことができません。
タイムラプスモードを終了してから行ってください。(☛ P.24)

無線LAN接続できない

- 無線LAN 接続待機中になっていますか。
無線LAN ボタンを押して、無線LAN 接続待機中にしてから無線LAN 接続を行ってください。(☛ P.43)
- 無線LAN 名称(SSID)や無線LAN パスワードを変更してわからなくなった場合は本体のみで初期化してください。(☛ P.13)

音声によるお知らせをしない

- スピーカー音量[オフ]になっていませんか。
スピーカー音量[オフ]では音や音声によるお知らせをしません。スピーカー音量を確認してください。(☛ P.62)

イベント記録ファイルがない

- イベント記録中に電源OFFしていませんか。
イベント記録中に電源OFFした場合は、見えないファイルや壊れた状態のファイルとなる場合があります。
- 事故発生時の衝撃が弱くありませんでしたか。
事故発生時の衝撃が弱い場合、Gセンサーが衝撃を検知できない場合があります。その際は、常時録画の映像をご確認ください。(● P.20「常時録画」)

録画ファイルがない

- 上書きされていませんか。
初期値では上書きモード[すべて上書き]のため上限に達すると上書きされます。(● P.21)
- 各専用フォルダを確認してください。(● P.19)

専用ビューアソフトで地図や走行速度、加速度が表示されない

- 「.nmea」ファイルを削除していませんか。
録画ファイルと同じフォルダにある「.nmea」ファイル内に情報が保存されています。削除しないようにしてください。
- インターネットに接続されていますか。
インターネットに接続されていない場合、地図(Google Maps)は表示されません。
- GPS測位していましたか。
録画ファイルにGPSデータがない場合、地図(Google Maps)は表示されません。
- タイムラプスモードで録画していませんか。
タイムラプスモードで録画した場合、「.nmea」ファイルが作成されないため、地図(Google Maps)は表示されません。

電圧監視機能付 電源ユニット接続時に駐車記録が動作しない

- 電源スイッチはONになっていますか。
OFFになっている場合は、電圧監視機能付 電源ユニットは動作しません。(● P.35)
- オフタイマー設定が[使用しない]になっていませんか。
オフタイマー設定が[使用しない]になっていると、車両のエンジンOFF後の本機への電源供給が行われません。
- エンジンOFF時の車両バッテリー電圧が検出電圧設定以下になっていませんか。
検出電圧設定以下では電源供給は行われません。検出電圧設定を変更してください。(● P.37)

マルチバッテリー接続時に駐車記録が動作しない

- 電源コネクタは接続されていますか。
電源コネクタが接続されていないとマルチバッテリーは充電されず、車両のエンジンOFF後の本機への電源供給が行われません。(▶ P.33)
- オフタイマー設定が[使用しない]になっていませんか。
オフタイマー設定が[使用しない]になっていると、車両のエンジンOFF後の本機への電源供給が行われません。
- ディップスイッチ4がOFFになっていませんか。
ディップスイッチ4がOFFになっていると、車両のエンジンOFF後の本機への電源供給が行われません。

例：オフタイマー設定を[1時間]に設定する場合



仕様

| | |
|-------------------|---|
| 外形寸法 (突起部除く) | 69(幅)×73(高さ)×42(奥行)mm (突起部除く) ※取付ブラケット(テープ貼付)装着時78(高さ)mm (窓ガラス25° 想定の場合) |
| 本体重量 | 約 117g (microSDカード含む) |
| 記録媒体 | microSDカード (16GB付属) 8GB ~ 128GB (Class10以上) |
| 撮像素子 | 500万画素カラー CMOS (STARVIS™ 技術搭載※ ²) |
| 視野角※ ¹ | 水平 360° × 垂直 240° |
| 記録解像度 | 最大 340万画素 1856 × 1856 (魚眼)、2048 × 1536 (2分割) |
| GPS | 有 |
| Gセンサー | 有 0.5G ~ 4.0G (0.1G単位で感度調整可能) |
| 画質 | HDR (ハイダイナミックレンジ) |
| 最低被写体照度 | 0.5LUX (ルクス) |
| 記録方式 | 常時録画 / イベント記録 (Gセンサー記録、ワンタッチ記録<手動録画>) |
| 録画ファイル構成 | 1分単位、14分単位※ ³ 、28分単位※ ³ |
| 音声 | ON / OFF 可能 |
| フレームレート | 28コマ/秒、14コマ/秒、1コマ/秒※ ³ |
| 映像ファイル形式 | MP4 |
| 記録映像 再生方法 | <ul style="list-style-type: none"> ・専用ビューアソフト「PC Viewer TypeN」※⁴ (弊社ホームページよりダウンロードできます。) ・スマートフォン用アプリ「DR Remote TypeE」※⁵ ・Windows 標準の「映画&テレビ」※⁴ |
| 電源電圧 | DC 12V マイナスアース車専用 (5V入力) |
| 消費電力 | 7.5W |
| 動作温度範囲 | - 10℃ ~ + 60℃ |
| 製品保証期間 | 3年 (消耗品は除く) |

※上記は、ドライブレコーダー協会「表示ガイドライン」に基づく表記です。

※1：解像度により記録される視野角が変化します。

超広角レンズのため、視野角の水平、垂直と対角の比率は異なります。

※2：STARVIS(スタービス)は、監視カメラ用途CMOSイメージセンサー向けに開発された、高感度・高画質を実現するソニー株式会社の裏面照射型画素技術です。

※3：タイムラプスモード中のみ。

※4：Microsoft Windows10に対応しています。

※5：iOS 10/11/12/13、Android 5/6/7/8/9/10(Google Play対応)に対応しています。
(Intel Atomプロセッサ搭載モデルを除く)

別売品：マルチバッテリー(OP-MB4000)

| | |
|------------|--------------------------------|
| 入力電圧 | DC12V (最大6A) |
| 出力電圧 | 出力端子B：12V (1A) |
| オフタイマー設定時間 | 0.5時間/1時間/2時間/3時間/4時間/6時間/12時間 |
| 内蔵電池 | ニッケル水素電池 12V/4,000mAh |
| 動作温度範囲 | 0℃～+45℃ |
| 外形寸法 | 144(幅)×33(高さ)×131(奥行)mm(突起部除く) |
| 本体重量 | 約950g(内蔵電池含む) |

別売品：電圧監視機能付 電源ユニット(OP-VMU01)

| | |
|------------|---|
| 入力電圧 | DC12V/24V |
| 出力電圧 | DC12V/24V(入力に準ずる) |
| 検出電圧設定値 | 12V車：11.6V/11.8V/12V/12.2V、24V車：23.6V/23.8V/24V/24.2V |
| オフタイマー設定時間 | 0.5時間/1時間/2時間/3時間/4時間/6時間/12時間 |
| 動作温度範囲 | -10℃～+60℃ |
| 外形寸法 | 46(幅)×36(高さ)×16(奥行)mm(突起部除く) |
| 本体重量 | 約34g |

- ・この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中ではTM、®マークは明記していません。
- ・STARVISは、ソニー株式会社の商標です。

microSDカード対応一覧表

※本機と市販品のmicroSDカードとの相性による動作の不具合については保証いたしかねます。

⚠ 注意

容量が大きいmicroSDカードを使用した場合、ファイル数の増加により本機の動作が遅くなることがあります。あらかじめご了承ください。

| | |
|-----------|--------------------------|
| 記録媒体 | microSDHC / microSDXCカード |
| 容量 | 8～128GB |
| SDスピードクラス | Class 10以上 |

※スピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。

1. 録画時間の目安

| SDカード容量 | 通常時 | | タイムラプスモード時 |
|----------|-----------------------|----------------|--------------|
| | 28コマ/秒(28 FPS) 初期値 | 14コマ/秒(14 FPS) | 1コマ/秒(1 FPS) |
| 128GB | 約800分 | 約1,600分 | 約373時間 |
| 64GB | 約400分 | 約800分 | 約186時間 |
| 32GB | 約200分 | 約400分 | 約93時間 |
| 16GB(付属) | 約100分 | 約200分 | 約46時間 |
| 8GB | 約50分 | 約100分 | 約23時間 |

※上記値は目安で、絶対保証値ではありません。

※録画時間は、常時録画とイベント記録(Gセンサー記録とワンタッチ記録)の全ての録画時間の合計です

※お使いの状況、被写体や周囲環境などの要因により録画可能時間は変化します。

※映像記録方式(魚眼/2分割)による録画可能時間の変化はありません。

2. イベント記録の最大記録ファイル数

| SDカード容量 | 32GB以上 | 16GB(付属) | 8GB |
|---------|--------|----------|-----|
| ファイル数 | 64 | 32 | 16 |

※フレームレート、映像記録方式(魚眼/2分割)によるファイル数の変化はありません。

※最大記録ファイル数は、Gセンサー記録とワンタッチ記録を合わせたファイル数です。

※32GB以上のSDカードは64ファイルで固定になります。

索引

数字

360° VR表示 47

A

ACアダプター 17

D

DCジャック 14

F

Format ボタン 12, 15

G

GPS 80

Gセンサー 80

Gセンサー感度 21

Gセンサー記録 21

N

nmea ファイル 73

O

OP-E368 17

OP-E1138 17, 25, 32

OP-MB4000 17, 25, 32, 81

OP-SD32M 17

OP-SD64M 17

OP-VMU01 17, 25, 35, 81

S

SDカード 10, 17, 18, 82

SDスピードクラス 82

STARVIS 80

T

Time Lapse ボタン 15, 23, 24, 41

W

WLAN ボタン 15, 44

あ

アフターサービス 87

アルバム画面ボタン 46, 52

い

イベント記録 19, 20

う

上書き禁止 22

上書きモード 21, 63

え

映像記録方式 59, 62

映像ファイル形式 80

お

お客様相談センター 87

音声 80

音声ボタン 46, 50

音声録音 62

か

外形寸法 80

解像度 80

画質 80

カメラリストボタン 46, 50

き

魚眼表示 46, 47, 71

記録媒体 80, 82

記録方式 80

記録ボタン 13, 15, 21, 40

さ

再生方法 80

再生ボタン 55

最大記録ファイル数 82

撮像素子 80

し

車内表示 71

常時録画 19, 20

常時録画上書き 22

消費電力 80

シリアルナンバー 14

す

スピーカー 14

スピーカー音量 63

すべて上書き 22

せ

製品保証期間 80

接続ボタン 51

前方表示 71

専用アプリ 43

専用ビューアソフト 66, 68

索引

た

- タイムラプスモード 23, 41, 49
- ダウンロードボタン 53, 54, 57

て

- 電圧監視機能付 電源ユニット... 17, 25, 35, 81
- 電源直結コード 16, 17, 25, 30, 32
- 電源電圧 80
- 電源ランプ 14

と

- 動画撮影ボタン 46, 49
- 動作温度範囲 80
- ドライブレコーダー設定ボタン 51
- ドライブレコーダーフォルダーボタン 51

に

- 2分割表示 47, 71

は

- バックアップ機能 11

ひ

- ビデオ表示モード 47

ふ

- ファイル名 72
- フォーマット 12, 63, 65
- 付属品・別売品の購入 17
- ブラケット 14, 16, 28
- ブラケット固定用ボルト 14, 16, 28
- フレームレート 62, 80

ほ

- 本体重量 80

ま

- マイク 14
- マルチバッテリー 17, 25, 32, 81

め

- メニューボタン 46, 59
- メンテナンス 25

よ

- 容量 82

ら

- ライブ映像 46

り

- リスト表示変更ボタン 53
- リセットボタン 14, 15

れ

- レンズ 14

ろ

- 録画時間 82
- 録画ファイル構成 80

わ

- ワンタッチ記録 21, 40

アフターサービス

●保証書(裏表紙参照)

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日から3年間です。

●対象部分機器

本体(消耗部品は除く)

●修理をご依頼されるとき

「故障かな?と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、機種名(品番)、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。ご転居ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。

○保証期間中のとき

保証書の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。保証書の内容に従って修理いたします。

○保証期間が過ぎているとき

まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

※点検や修理の際、履歴や登録したデータが消去される場合があります。

※修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

1. お客様ご相談センター

お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認のうえ、お問い合わせください。

- ・下記窓口の名称、電話番号、受付時間は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
- ・電話をおかけになる際は、番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。
- ・紛失等による付属品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

受付時間 9:00～17:00 月曜日～金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

お客様ご相談センター



0120-998-036

本機のアップデート情報、最新の取扱説明書、専用ビューアソフト、専用アプリは随時、弊社ホームページに公開されます。最新情報は弊社ホームページでご確認ください。

<https://www.yupiteru.co.jp/>